
学生の就職活動に関する『意識・実態』アンケート調査報告書

2008年10月

目次

■ 調査概要	・・・ p4
■ 総括	・・・ p6～p9
■ 集計結果1 :就職活動の進捗	・・・ p12～p13
■ 集計結果2 :就職活動開始時期と最初のきっかけ	・・・ p16～p22
■ 集計結果3 :就職活動に対する意識と企業選択のポイント	・・・ p24～p29
■ 集計結果4 :大学の就職支援について	・・・ p32～p43
■ 集計結果5 :大学以外の外部団体の就職活動支援について	・・・ p46～p49
■ 集計結果6 :役立つ情報・足りない情報	・・・ p52～p59
■ 集計結果7 :就職活動の不安・悩み／全般的な意見	・・・ p61～p65

■ 調査概要

調査概要

■ 調査目的

2009年採用の学生の就職活動における実態を以下2点に関し把握することで、大学をはじめとする学生を取り巻く環境の改善に役立てる基礎情報を得る。

1. 学生の就職活動実態に関し、活動状況や意識を把握すること。
2. 学校を中心とした就職活動を取り巻く周辺環境に関して把握すること。

■ 調査方法

Webアンケート調査

■ 実施期間

2008年4月21日～2008年4月24日

■ 調査対象者

日本全国の短期大学2年生、4年制大学4大学生、大学院(修士)2年生の男女 358名

<対象者プロフィール>

■ 性別		人数	%
全体		358	100%
1	男性	159	44.4%
2	女性	199	55.6%

■ 学校区分		人数	%
全体		358	100.0%
1	短期大学2年	32	8.9%
2	大学4年	260	72.6%
3	大学院・修士2年	66	18.4%

■ 系統区分		人数	%
全体		358	100.0%
1	国公立	102	28.5%
2	私立	256	71.5%

■ 大学の所在する地域		人数	%
全体		358	100%
1	都市部	251	70.1%
2	地方部	107	29.9%

※都市部: 大学の所在が、東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・愛知県・三重県・岐阜県・大阪府・京都府・奈良県・兵庫県
※地方部: 大学の所在が、都市部を除くエリア

■ 学部		人数	%
全体		358	100.0%
1	文系	213	59.5%
2	理工系	117	32.7%
3	その他	28	7.8%

※その他: 医歯薬看護系、芸術系、体育系、その他

■ 総括

■ 集計結果1 :就職活動の進捗(p12~p13)

**調査時点での内々定獲得状況は、全体平均で26.5%。
属性別に見た場合、「短大生」「女子学生」「国公立大学生」「地方部大学生」は平均を下回る結果。**

- ・2008年4月末時点の内々定率の獲得状況は、全体では26.5%であった。
- ・学校区分別に見た場合、大学院・修士生が最も高く(36.4%)、次いで4年制大学生(26.9%)、最後に短大生(3.1%)という結果であった。
- ・短大生に関しては、まだ面接まで進んでいない学生が6割近くいる状態であり、進捗自体が比較的遅れ気味だということが分かった。
- ・大学生の内々定獲得率について、各属性別にみたところ、男子学生は女子学生を9.6%上回り、私立学生は国公立学生を13.6%上回り、都市部学生は地方部学生を17.4%上回っていた。国公立/私立、都市部/地方部で予想以上の大きな差があることがわかった。

■ 集計結果2 :就職活動開始時期と最初のきっかけ(p16~p22)

**大学3年生の12月末までに就職活動を開始することが、早期内々定の鍵。
最初のきっかけは、「就職支援講座・セミナー参加」「WEBサイトを見る」という行動で8割を占める。**

- ・就職活動開始時期に関して、大学3年生の12月末までに開始している大学生は64.3%。女子は男子よりも、都市部の学生は地方部の学生よりも、私立大学の学生は国公立大学の学生よりも、早めのスタートを切っている。
- ・調査時点で内々定を獲得している学生と未内々定の学生とでは就職活動開始時期に違いがあることがわかった。内々定者は8割以上が大学3年12月末までに活動を開始しているのに対し、未内々定者は6割に満たなかった。活動開始時期と早期内々定獲得には関連性があると思われる。
- ・就職活動の最初のきっかけ(行ったこと)に関して、全体では「大学が主催する就職支援講座・セミナーへ参加する」「就職支援WEBサイトを見る」「大学以外の外部が主催する就職支援講座・セミナーへの参加」という3つの行動で8割を占める。
- ・但し、各属性で特徴があり、男子は「外部主催の就職支援講座・セミナーへの参加」が女子より高く、女子は「外部の講座・セミナー」よりは「WEBサイトを見る」という行動をとっている。また「大学のキャリアセンター・就職課へ行く」という行動も多い。
- ・私立大学の学生は、大学・外部を問わず「講座・セミナー参加」や「就職課に足を運ぶ」などの“情報を得る場”に積極的に足を運んでいる点が特徴的であった。
- ・地方部の学生は、立地のハンディからか、都市部の学生に比べ「外部主催の講座・セミナーへ行く」割合が低かった。

総括

■ 集計結果3 : 就職活動に対する意識と企業選択のポイント(p24~p29)

**明確な目的を持たず、漠然と就職活動を行っている大学生が4割を超える。
企業選択のポイントは“長く働くことを意識する”男子と“働き甲斐・働き易さを意識する”女子とで差。**

- ・就職活動に関し、大学院・修士生は6割以上が「明確な目的を持って活動している」のに対し、大学生では「明確な目的を持っている」と、「明確な目的はないが、就職はすべきと考えている」の割合は同数の41.2%であり、面接まで進んでいる人が75%存在する4月段階の大学生の回答としては意外な結果であった。
- ・企業選択のポイントに関しては、男女で重視するポイントの違いが明確に現れた。
- ・『企業』という観点では「仕事の内容」を男女ともに最も重視しているものの、男子は“会社のポテンシャルや安定性”を、女子は“自分にとっての働き甲斐を見出せるか?”というような視点で見ていることが分かった。
- ・『就業環境』という観点では男子は「給与」「福利厚生」「研修・教育制度」のような“長期的に働く場合の視点”で見ているのに対し、女子は6割以上が「オフィスの立地」「福利厚生」と挙げていることから、“働きたい場所・働きやすさ”をポイントにしていた。
- ・『企業風土』という観点では男女ともに「職場の雰囲気」を重視している点に変わりはないが、男子は「若いときから挑戦できるチャンスがある会社」、女子は「女性活用・登用に積極的な会社」に魅力を感じることが分かった。

■ 集計結果4 : 大学の就職支援について(p32~p43)

**メニューの設置数や学生意識から、手厚い私立大学と手薄な国公立大学という違いがはっきり現われた。
個別の支援メニューへの参加に関しては、“必要性”だけではなく“参加の手軽さ”という要素も伺える。
「支援の仕方の工夫」や、「早期の就職意識喚起」を求める声など興味深い要望も多い。**

- ・私立大学は国公立大学に比べ総じて就職支援メニューの設置は充実している。特に「SPI対策」「各種試験対策」「一般常識対策」に関しては設置の差が大きく、国公立の学生には不利な状況であることが分かった。
- ・其々のメニューへの参加経験については、「就職ガイダンス」「企業説明会」等の基本的なメニューへの参加経験は7割を超えており、学生にとってスタンダードな行動であることが分かる。
- ・「面接対策」「インターンシップ」に関しては、設置数は比較的多いにも関わらず、学生の参加経験は少ない。特に「面接対策」に関しては“参加したいと思っている”学生の割合は少なくないことから、設置枠が少ないという要因も可能性として考えられる。
- ・「SPI対策」「職能適性検査・性格診断検査」「業界研究」に関しては設置数は少ないにも関わらず参加経験は高い。参加率の高いメニューに関しては、学生にとって重要だと考えられていると見る見方もある一方で、手間や気構えなく“手軽に参加できるメニュー”である為に参加率が高いという見方もできる。いづれにしても、「SPI対策」「職務適性検査・性格診断検査」「業界研究」に関してはメニューの設置があれば参加者も更に増える可能性はある。

総括

- ・また、参加経験者に役立ったかどうか？を聞いたところ、“大変役立った”という回答が最も多かったのは1位「インターンシップ」2位「面接対策」、3位「就職に関する個別相談・カウンセリング」という、参加経験と相反する結果であった。
- ・「インターンシップ」に関しては、企業での実体験を積むことで具体的なイメージやモチベーション向上に繋がる点を役立つ理由に挙げており、「個別相談・カウンセリング」「面接対策」に関しては、よりパーソナルな対応をしているケースで役立ったと感じる声が多い。
- ・実際に参加してみると役立つ支援内容であるにも関わらず、学生にとっては“手軽に参加できるメニュー”ではない為、参加に二の足を踏む学生が多いという可能性が高い。意識の高い学生は積極的に参加し更に意識を高め、意識の低い学生は参加していないという可能性を示唆する結果である。
- ・「大学に望む支援内容」については「面接対策、エントリーシートや筆記試験の添削・対策」や、「推薦・紹介・斡旋の声」などの身に迫って必要な支援を挙げる声が多かったものの、「情報を分かりやすくしてほしい」、「相談しやすい雰囲気づくりをしてほしい」といった、大学側の支援の仕方に工夫を求める声や、「早期の就職意識喚起をして欲しかった」という、近年多くの大学で取り入れている“キャリアデザイン”“キャリアプランニング”という考え方・やり方を支持する声も見られた。
- ・ここでも、私立の学生と国公立の学生で特徴の違いが見られ、私立学生は“マンツーマン指導・支援”の更なる充実を望んでいるのに対し、国公立学生は“一般的な支援”を望むという、大学側の支援の現状を踏まえた要望の違いがあることが見て取れた。

■ 集計結果5 : 大学以外の外部団体・企業の就職支援について(p46～p49)

有料であっても学生が参加しているメニューは、大学に設置が少なく、またパーソナルな対応や細かいフォローが比較的必要な支援に限られる。要望については、地方部学生からの「地方でサービス展開をして欲しい」という声や「企業研究サービス・企業評価」というような、第三者だからこそ望める支援を求める声特徴的。

- ・大学以外の外部団体・企業が主催する就職支援に関しては、「企業説明会」や「就職ガイダンス」のようなスタンダードメニューへの参加は多いものの、“大学の支援”に比べ参加経験者は少ない。
- ・但し「SPI対策」「職務適性検査・性格診断検査」「一般常識試験対策」「自己分析」「面接対策」等のメニューに関しては、有料であっても参加経験者が少数ながら存在している。共通していることは、大学に設置が少ないメニューである点と、比較的パーソナル対応や細かいフォローが必要な支援である。
- ・大学以外の外部団体・企業への要望に関しては多岐にわたるが、注目できる意見としては「地方でのサービス展開をして欲しい」という、立地のハンディがある地方部の学生からの要望や、「企業の中身をイメージできるサービス」「企業研究サービス・企業評価」といった、採用の場に関係ない第三者的立場から提供する“体験”や“レクチャー”を望む声特徴的だった。

総括

■ 集計結果6 : 役立った情報・足りない情報 (p52～p59)

**「WEB」は就職活動にとっては必須ツールであり、エントリーや企業情報収集以上に使われている。
学生が欲しいと考えている情報は“企業の実情”“詳細情報”に集中している。**

- ・就職活動の中で実際に役立っている情報に関しては、8割以上が「Webサイトからの情報」と回答。
- ・私立学生のほうが国公立学生よりも「大学からの情報」を「役立った」と答えている割合が高く、大学の支援体制の違いを反映する結果といえる。
- ・個別の情報源に関して細かく見てみると、「WEBサイト」に関しては、「リクナビ」「マイナビ」などの企業研究・エントリーができる定番サイトが上位にきたものの「みんなの就職活動日記」のような“面接の本音”“企業の実態”が知れる点を支持する声も多かった。
- ・「人からの話」に関しては、6割以上が「友人」からの話が役立つと回答。未経験の内容や、自分では気づかない情報が得られるという点に加え、“モチベーションがあがる”、“刺激になる”といったリアルな接点ならではの理由が目立った。
- ・「イベント・セミナーからの情報」に関しては、“一度にいろいろな情報が得られる”点や“会社の雰囲気が分かる”点など、質・量ともに情報収集できる「合同説明会/企業説明会」を上位に挙げる声が目立った。
- ・「大学からの情報」に関しては、「企業説明会」や大学に収集してある「求人情報」などが“企業選択の参考”“就職活動のイロハが分かる”として挙げられていた。
- ・足りない・更に欲しいと思う情報に関しては、“企業の実情”“詳細情報”という声が多かった。選考の場で聞くと印象が変わるのではないか？という理由で聞けないと回答する学生も多く、就職のアンマッチを防ぐ意味でも企業側の正確且つ誠実な情報開示・提供を学生にしていくことが求められている。

■ 集計結果7 : 就職活動の不安・悩み／全般的な意見 (p61～p65)

**女子の方が男子よりも不安・悩みを抱えていることが明らかになった。
また全般的な意見としては「活動時期」「自己分析」「企業・業界研究・説明会への参加」面での後悔の声はあるものの、多くの学生は就職活動を有意義なものとして捉えている。**

- ・就職活動の不安・悩みに関しては、「内定がでるのか？(就職できるのか?)」という悩みが最も多く、次いで多かった傾向としては「会社選択」や「自己分析」に起因する不安、「就職活動の仕方の不安」、「周囲と比較した不安」、「社会人になってからの不安」などであった。
- ・また、「内定がでるのか？(就職できるのか?)」という不安に関しては、女子の実に4割以上が感じている。
- ・一方で、男子は「特になし」という回答も2割を超えており、活動開始時期が早いにもかかわらず、男子より内々定が出ていない女子の就職活動実態と比較してもうなずける結果であった。
- ・これまでの就職活動を振り返った感想・意見”については、「成長した／楽しかった／良い経験をした／順調／満足している」などの就職活動をポジティブに捉える意見が「大変だった／辛かった」などのネガティブに捉える意見を上回る意外とも思える結果だった。
- ・多くの学生は「大変だったが良い経験だった」「就職活動を通じてはじめて自分を見つめなおした」「今までの中で一番頑張れた」というような、自分の成長においては”良い機会”だったとして、就職活動を有意義なものとして捉えている様子が伺えた。
- ・後悔の声に多かった「活動時期をもっと早めれば良かった」「自己分析が甘かった」「企業・業界研究・説明会への積極参加しておくべきだった」というような意見は今後の大学側の学生支援内容の改善に取り入れるべきポイントである。



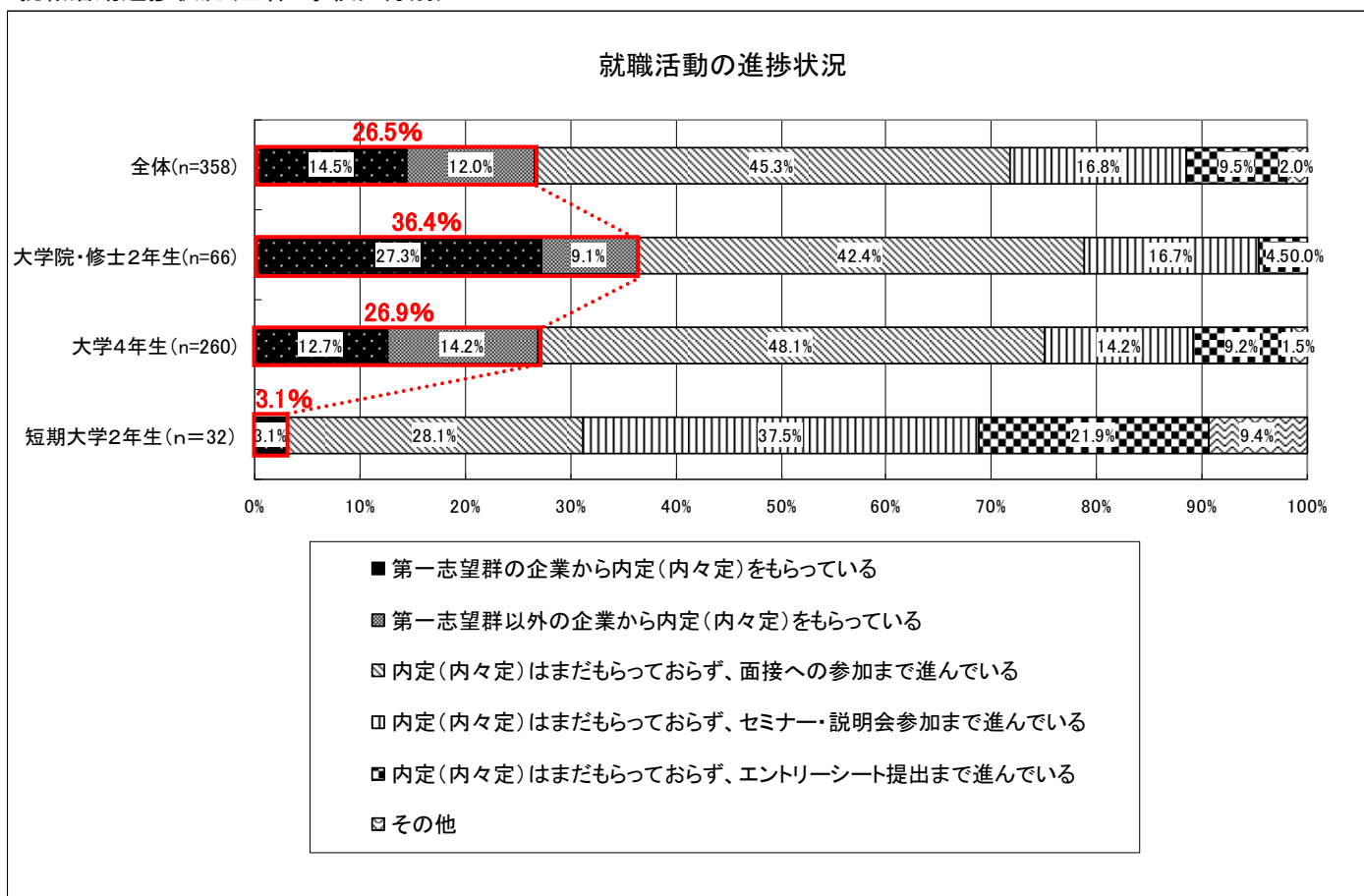
■ 集計結果1 : 就職活動の進捗

就職活動の進展状況について (2008年4月末時点)

Q1.あなたの就職活動の進展状況を教えてください。(SA)

**4月末時点での内々定獲得率は全体で26.5%。
短大生は比較的遅れ気味。**

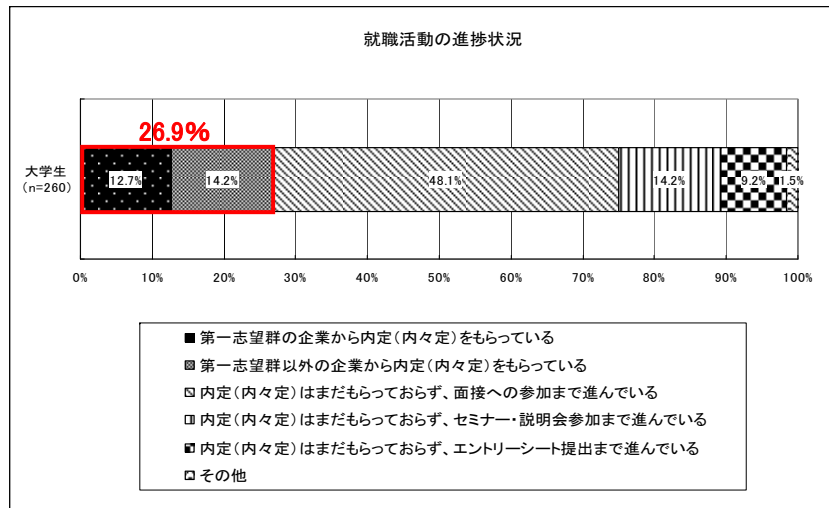
■就職活動進捗状況(全体・学校区分別)



就職活動の進展状況について (2008年4月末時点)

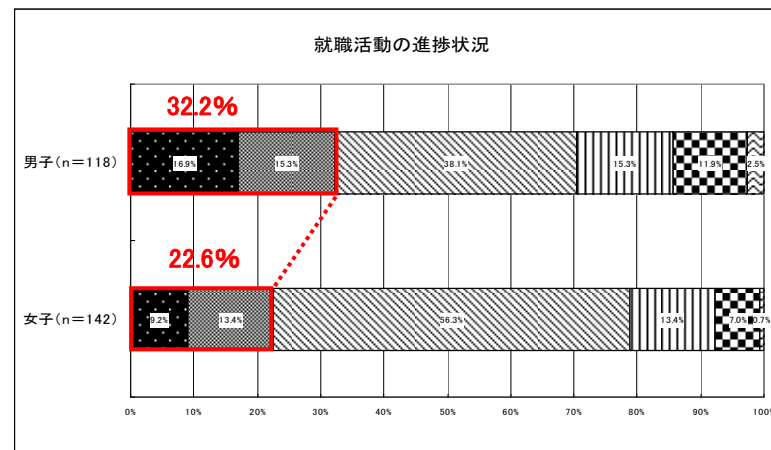
Q1.あなたの就職活動の進展状況を教えてください。(SA)

■就職活動進捗状況(4年制大学生全体)



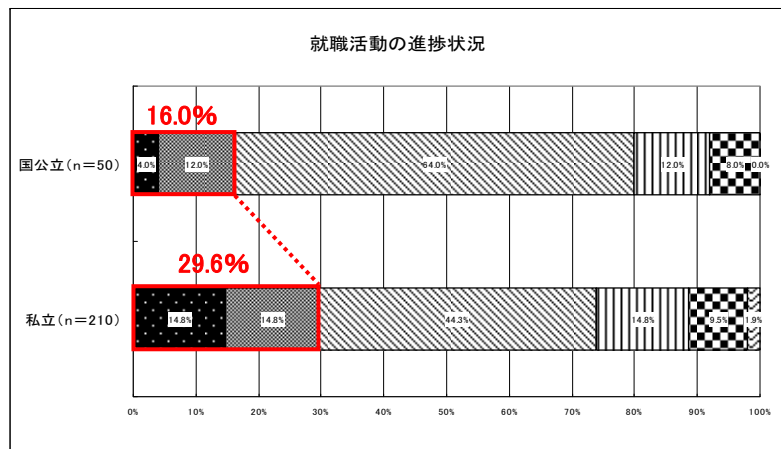
■就職活動進捗状況(男子/女子)

※集計対象は4年制大学生のデータのみ



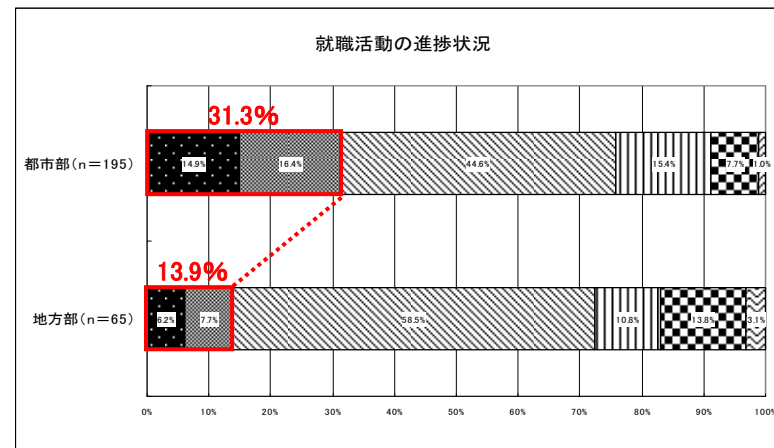
男子の内々定率は、女子を9.6%上回る

■就職活動進捗状況(国公立/私立)



私立大学生の内々定率は、国公立大学生を13.6%上回る。

■就職活動進捗状況(都市部/地方部)



都市部学生の内々定率は、地方部学生を17.4%上回る。

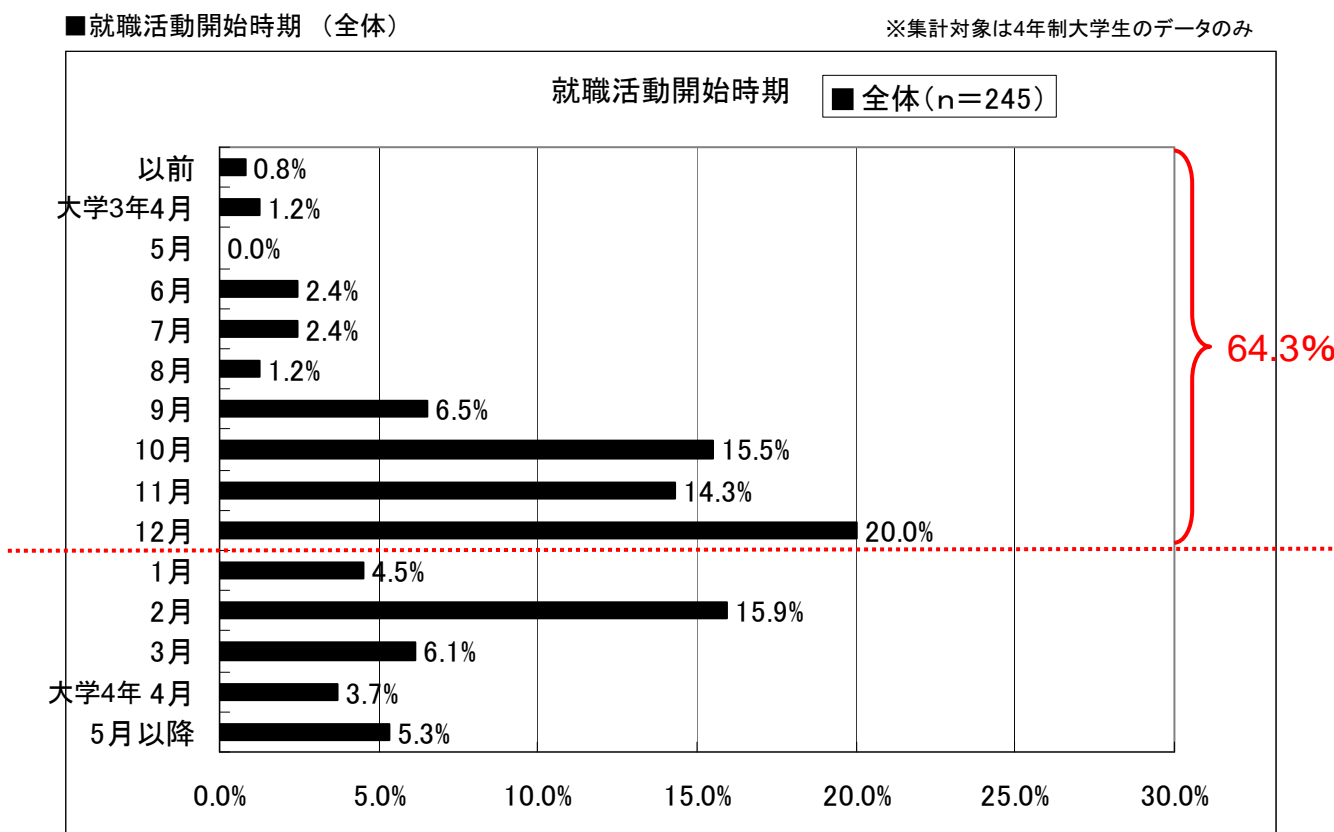


■ 集計結果2 : 就職活動開始時期と最初のきっかけ

就職活動開始時期

Q4.就職活動をいつから開始しましたか？(SA)

大学3年生の12月末までに開始する学生は64.3%。



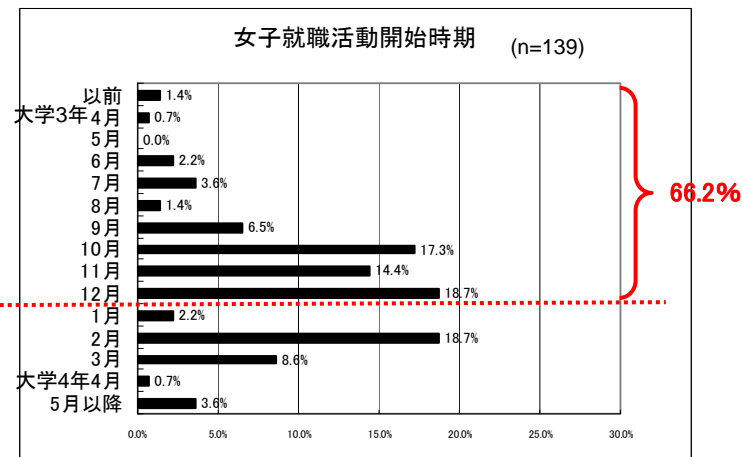
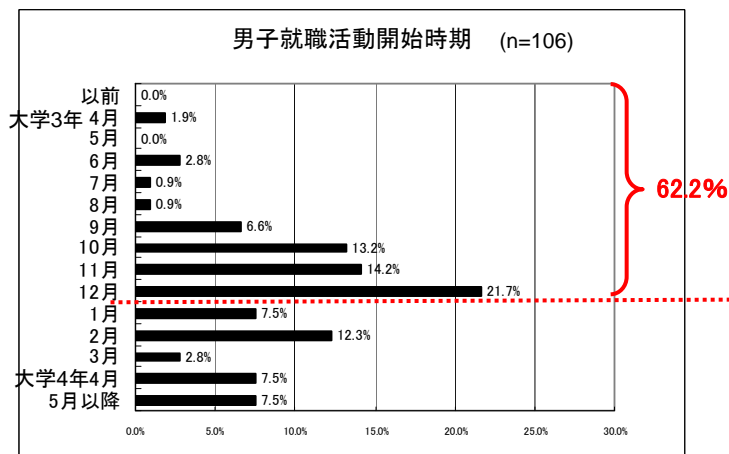
就職活動開始時期

Q4.就職活動をいつから開始しましたか？(SA)

女子は男子より若干早めにスタートをしている。

■就職活動開始時期(男子／女子)

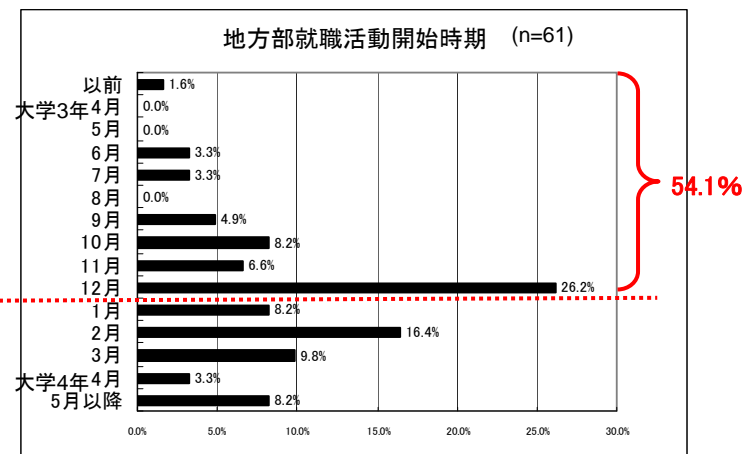
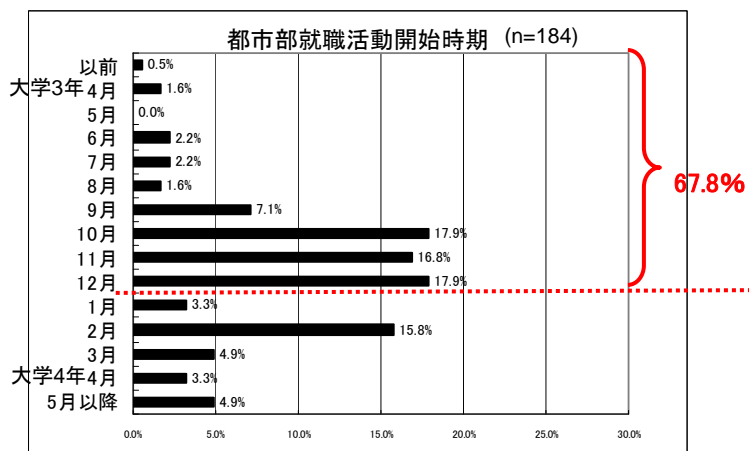
※集計対象は4年制大学生のデータのみ



地方部学生はスロースタート。

■就職活動開始時期(都市部／地方部)

※集計対象は4年制大学生のデータのみ



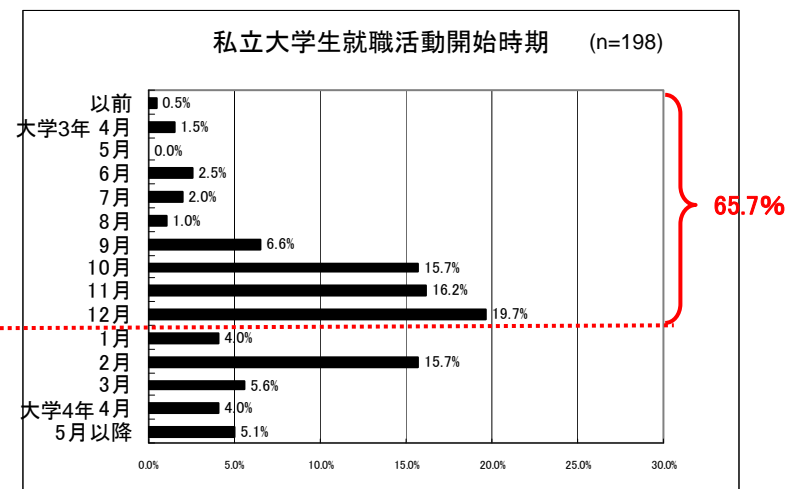
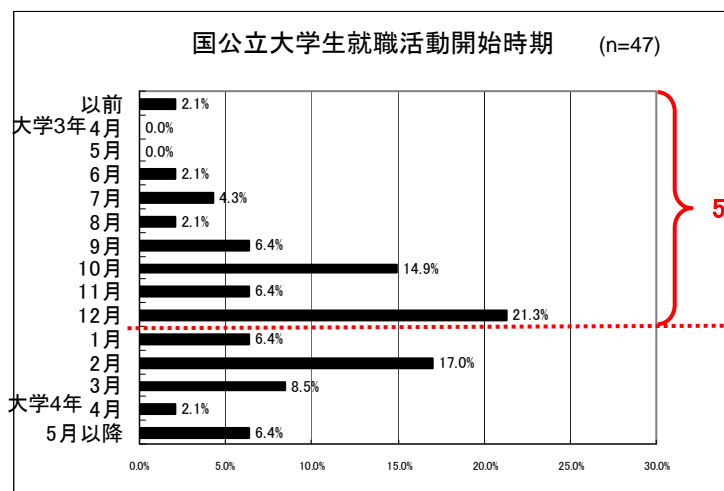
就職活動開始時期

Q4.就職活動をいつから開始しましたか？(SA)

私立学生は、国公立学生より早めにスタートしている。

■就職活動開始時期(国公立／私立)

※集計対象は4年制大学生のデータのみ



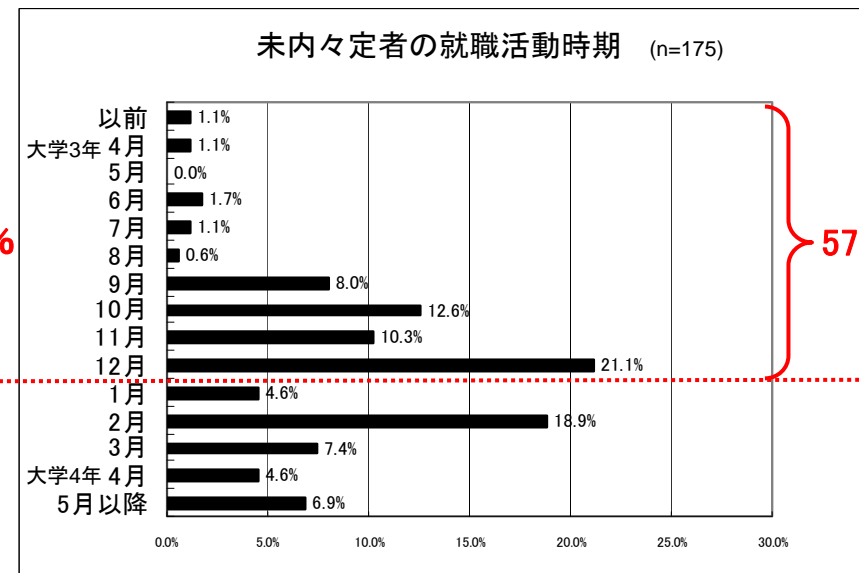
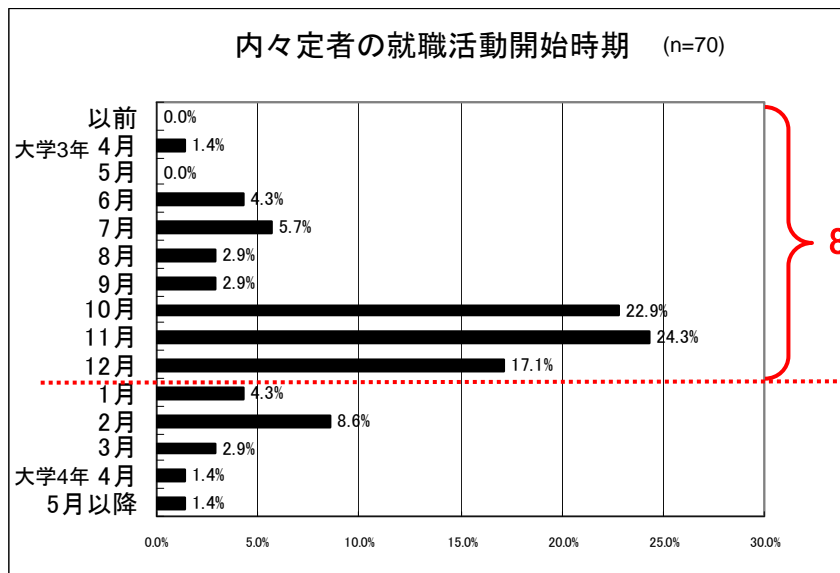
就職活動開始時期

Q4.就職活動をいつから開始しましたか？(SA)

内々定を獲得した8割以上が大学3年の12月までに活動を開始。
早期の内々定獲得と活動開始時期の関係があることが考察できる。

■内々定者と未内々定者の活動開始時期比較

※集計対象は4年制大学生のデータのみ

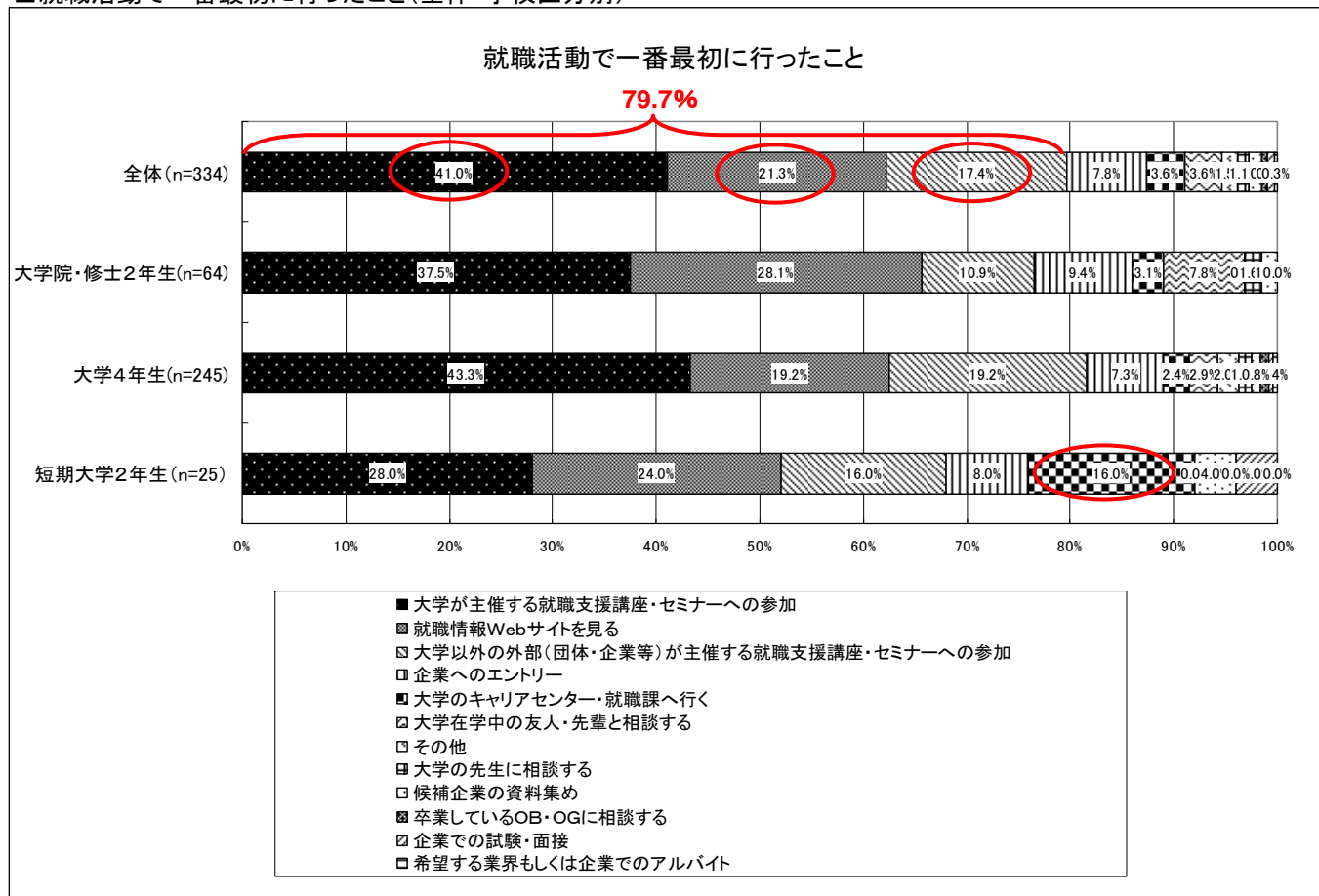


就職活動で一番最初に行ったこと

Q5.就職活動において、一番最初に行ったこと(最初のきっかけ)は何ですか？(SA)

＜大学が主催する就職支援講座・セミナーへの参加＞＜就職情報Webサイトを見る＞
 ＜大学以外の外部(団体・企業等)が主催する就職支援講座・セミナーへの参加＞の上位3つの行動
 で約8割を占める。
 短大生は＜大学のキャリアセンター・就職課へ行く＞も比較的多く、きっかけは多様化。

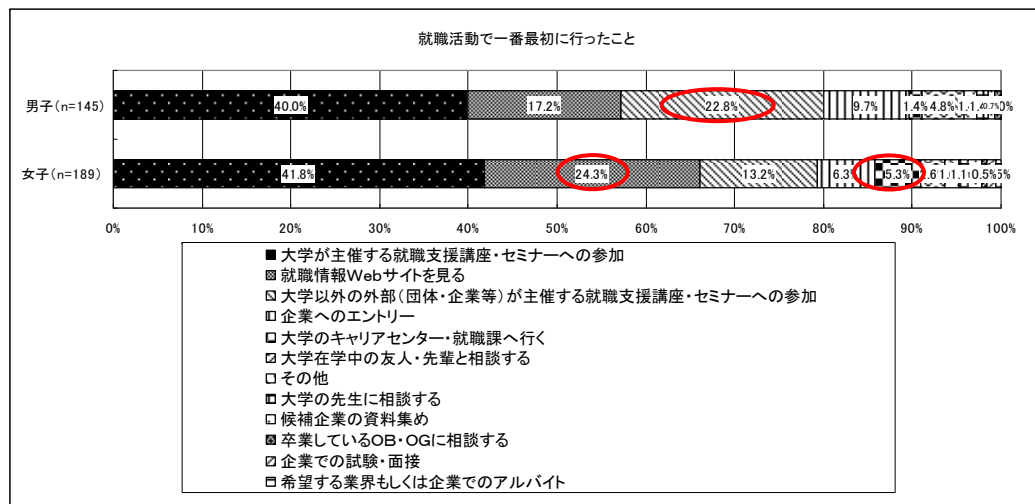
■就職活動で一番最初に行ったこと(全体・学校区分別)



就職活動で一番最初に行ったこと

Q5.就職活動において、一番最初に行ったこと(最初のきっかけ)は何ですか？(SA)

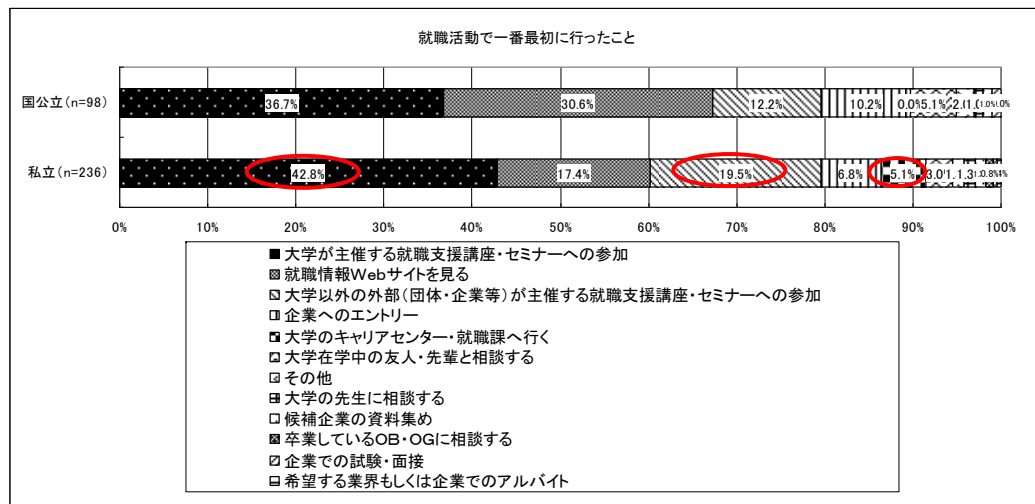
■就職活動で一番最初に行ったこと(男子/女子)



(男子/女子の違い)

男子は<外部主催の支援講座・セミナーへ行く>
女子は<就職情報WEBサイトを見る><大学のキャリアセンター・就職課へ行く>という活動の差が特徴的。

■就職活動で一番最初に行ったこと(国公立/私立)



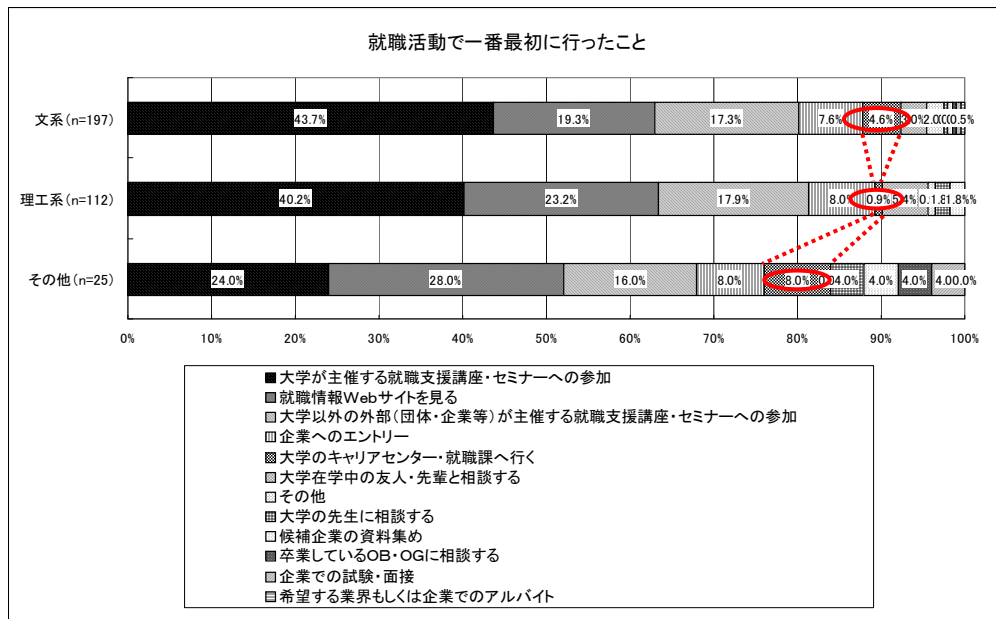
(国公立/私立の違い)

私立学生はセミナー参加や就職課へ行くなど情報を得る場“に、早くから足を運ぶ傾向。

就職活動で一番最初に行ったこと

Q5.就職活動において、一番最初に行ったこと(最初のきっかけ)は何ですか？(SA)

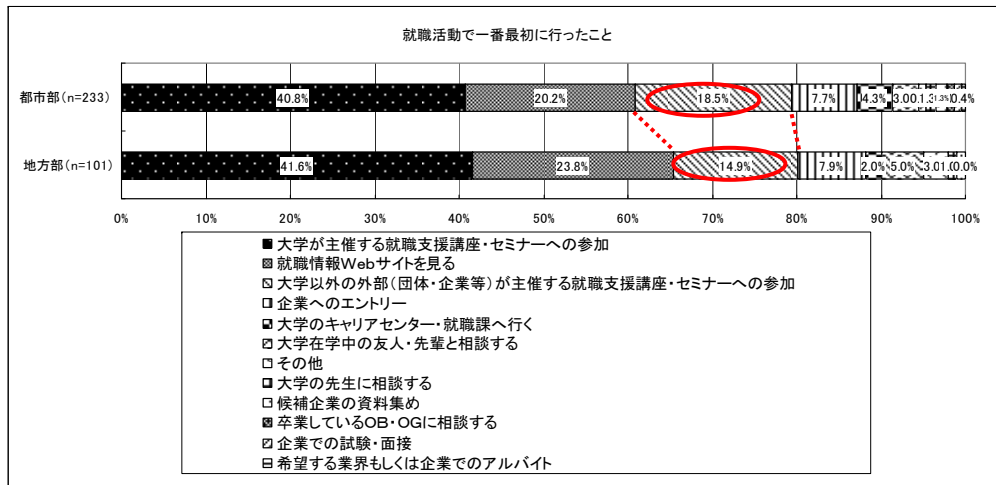
■就職活動で一番最初に行ったこと(文系/理工系/その他)



(文系/理工系/その他の違い)

理系は他学部 비해 <大学のキャリアセンター・就職課へ行く> 人の割合が著しく低い。

■就職活動で一番最初に行ったこと(都市部/地方部)



(都市部/地方部の違い)

地方部の学生は <外部主催の支援講座・セミナーへ行く> 人の割合が都市部に比べ低い。

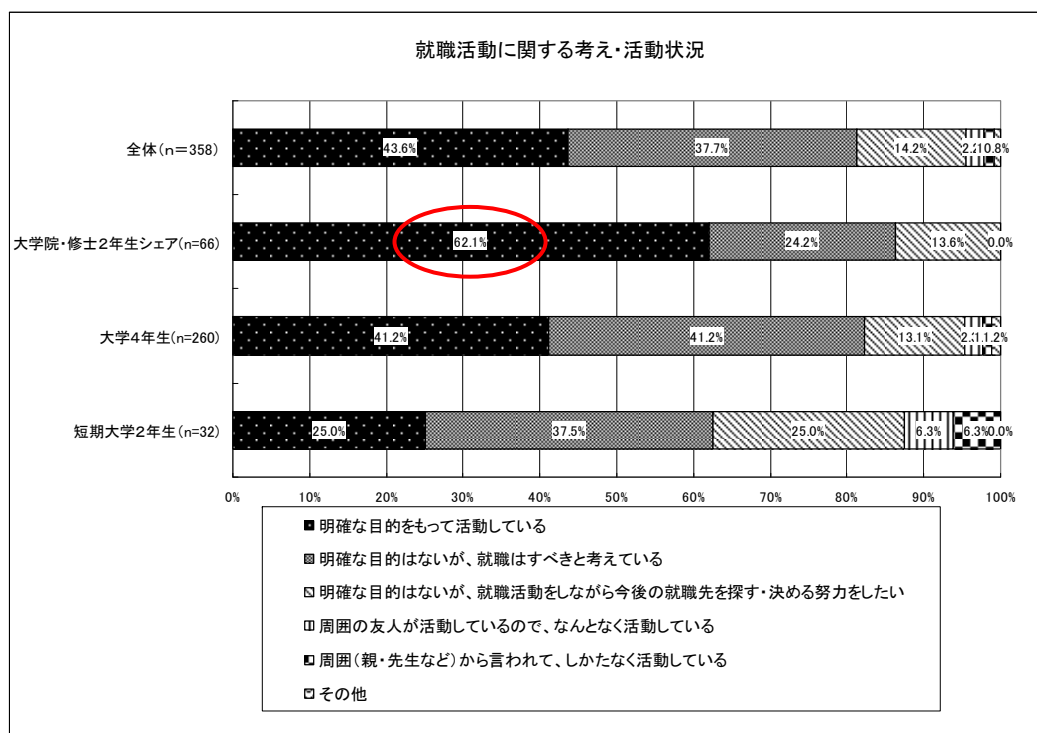
■ 集計結果3 : 就職活動に対する意識と
企業選択のポイント

就職活動に対する考え・活動状況

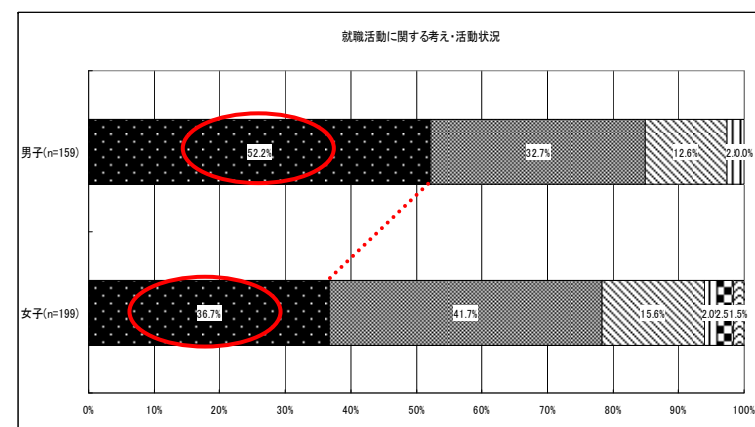
Q2.あなたの就職活動について、あなたの考え・活動に近いものをお選び下さい。(SA)

**大学院・修士学生の6割以上が、明確な目的を持って活動している。
また、男子の方が女子よりも、明確な目的をもって活動している。**

■就職活動に関する考え・活動状況（全体・学校区分別）



■就職活動に関する考え・活動状況(男子/女子)

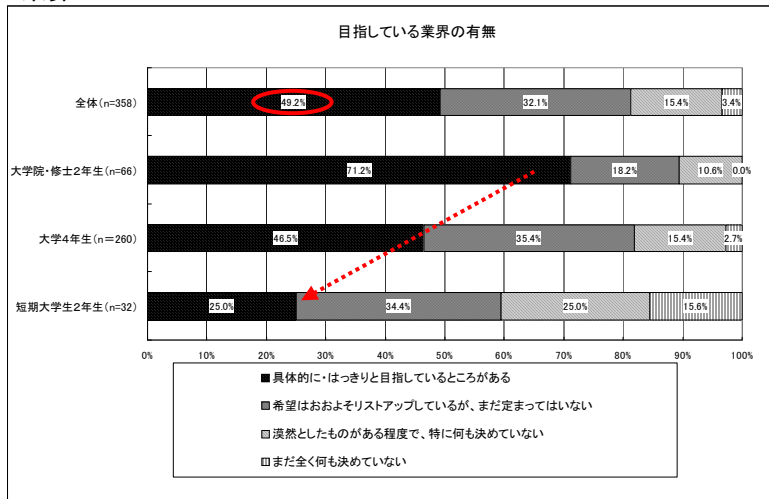


目指している業界・職種・企業の有無

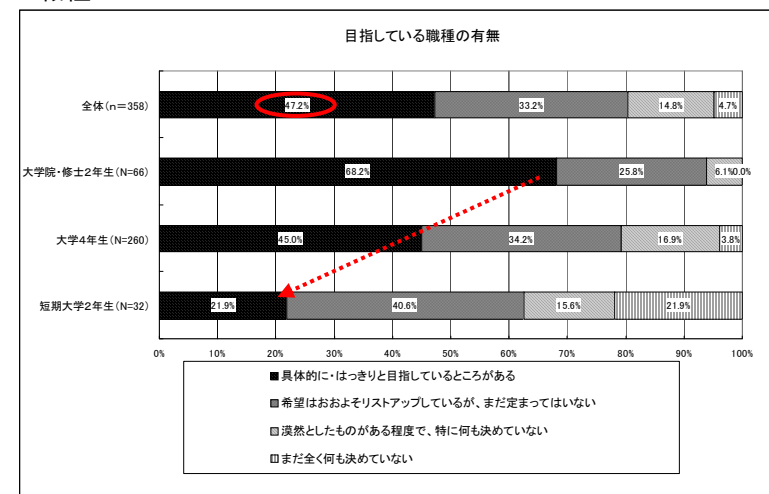
Q3.就職先として目指している業界・職種・企業はありますか？(SAマトリックス)

**短大生<大学生<大学院・修士生の順で目指している業界・職種・企業が明確になっている。
業界・職種に比べ、企業に対する具体的なイメージは明確になっていない。**

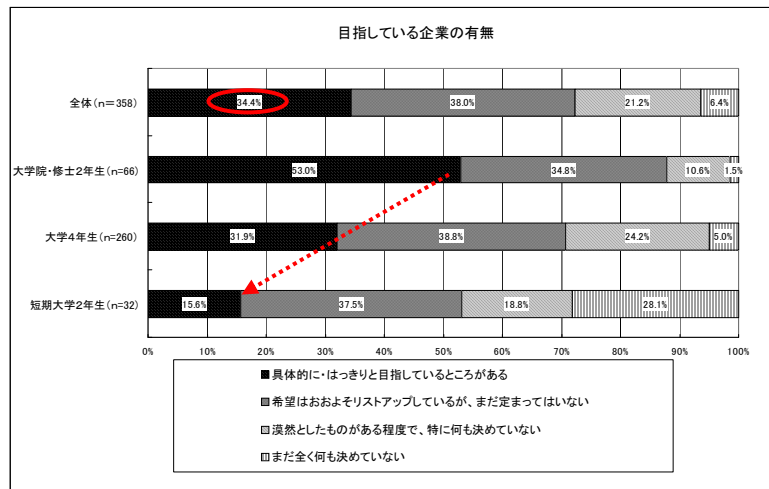
■業界



■職種



■企業



エントリー企業に感じた魅力

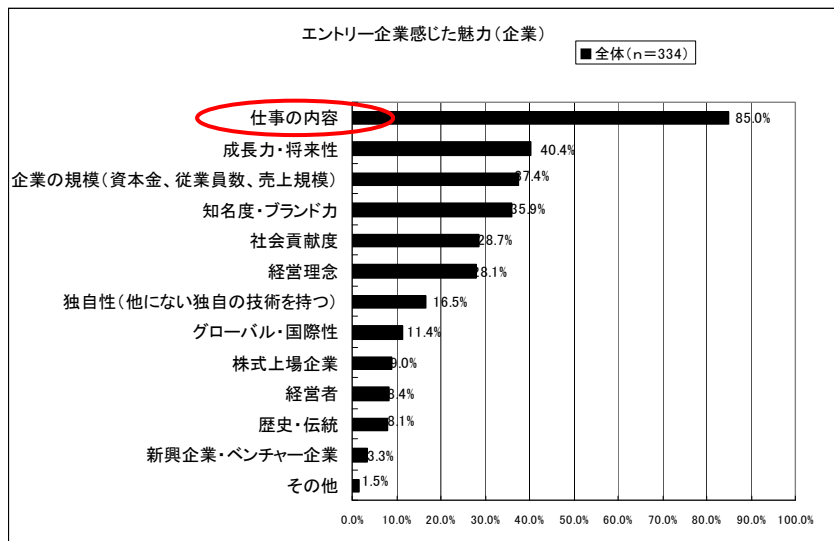
Q13.企業へのエントリー段階で、あなたがエントリー企業に感じた魅力は何ですか？企業、就業環境、企業風土それぞれの観点からお選び下さい。(MA)

「企業」については<仕事の内容>が8割以上で群を抜く。

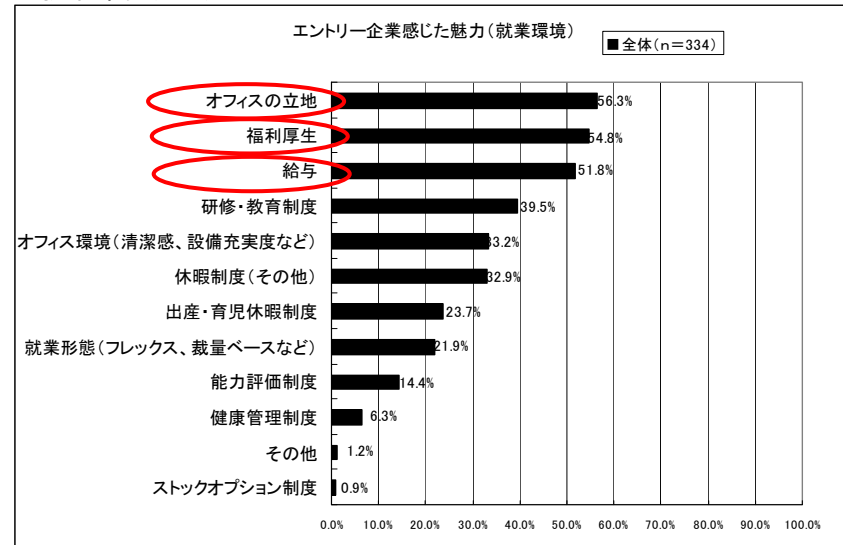
「就業環境」については、<オフィスの立地><福利厚生><給料>が過半数を超えて拮抗。

「企業風土」については、<職場の雰囲気>が7割を超える。

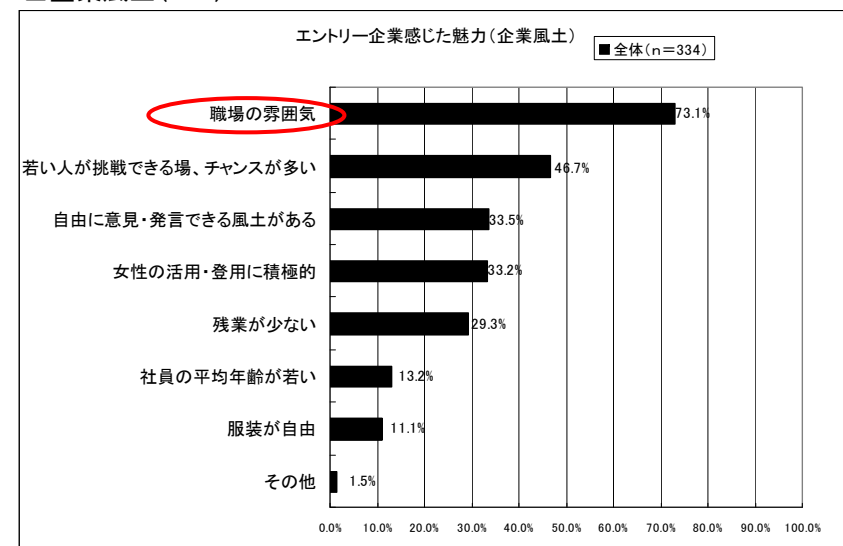
■企業(MA)



■就業環境(MA)



■企業風土(MA)

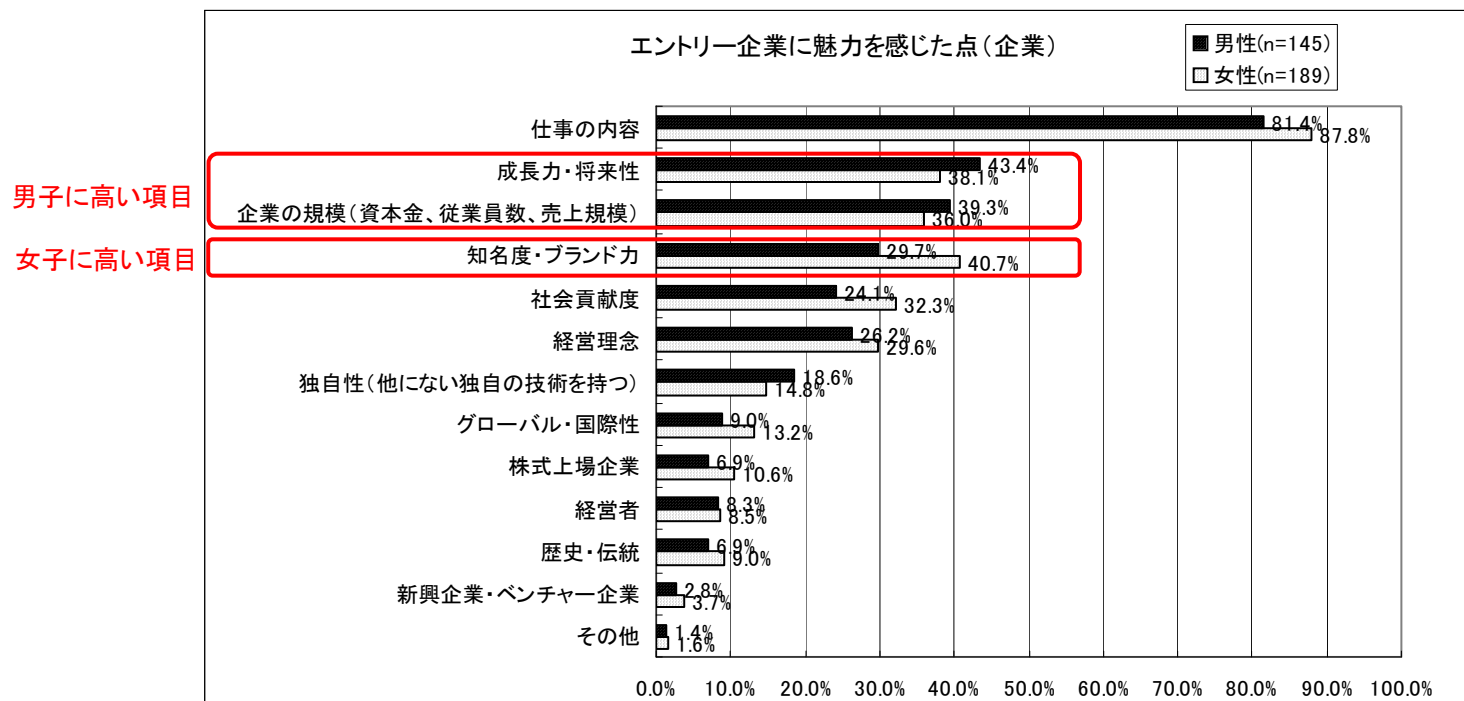


エントリー企業に感じた魅力

Q13.企業へのエントリー段階で、あなたがエントリー企業に感じた魅力は何ですか？企業、就業環境、企業風土それぞれの観点からお選び下さい。(MA)

男女とも<仕事の内容>を一番重視するものの、男子は<成長力・将来性><企業の規模>を女子は<知名度・ブランド力>を重視する傾向。

■エントリー企業に魅力を感じた点 企業(MA) 男子/女子

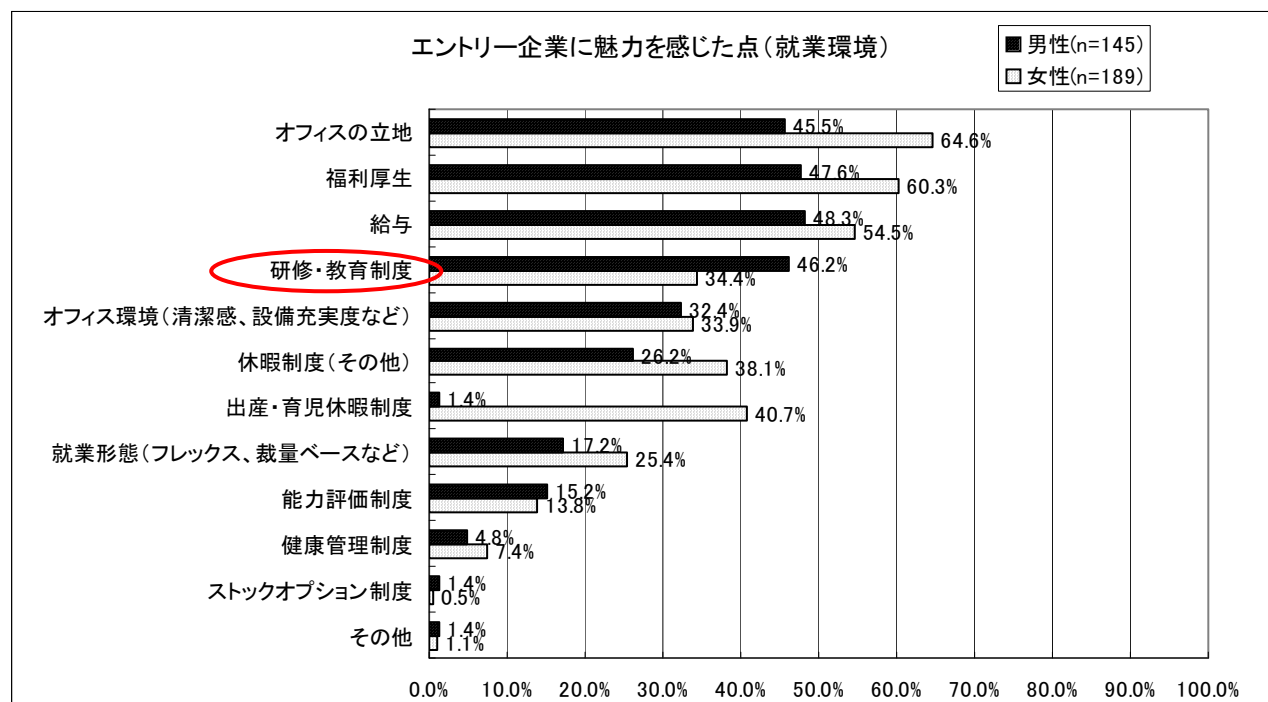


エントリー企業に感じた魅力

Q13.企業へのエントリー段階で、あなたがエントリー企業に感じた魅力は何ですか？企業、就業環境、企業風土それぞれの観点からお選び下さい。(MA)

総じて女子の数値が高いが、男子は<研修・教育制度>をより重視している。

■エントリー企業に魅力を感じた点 就業環境(MA) 男子/女子

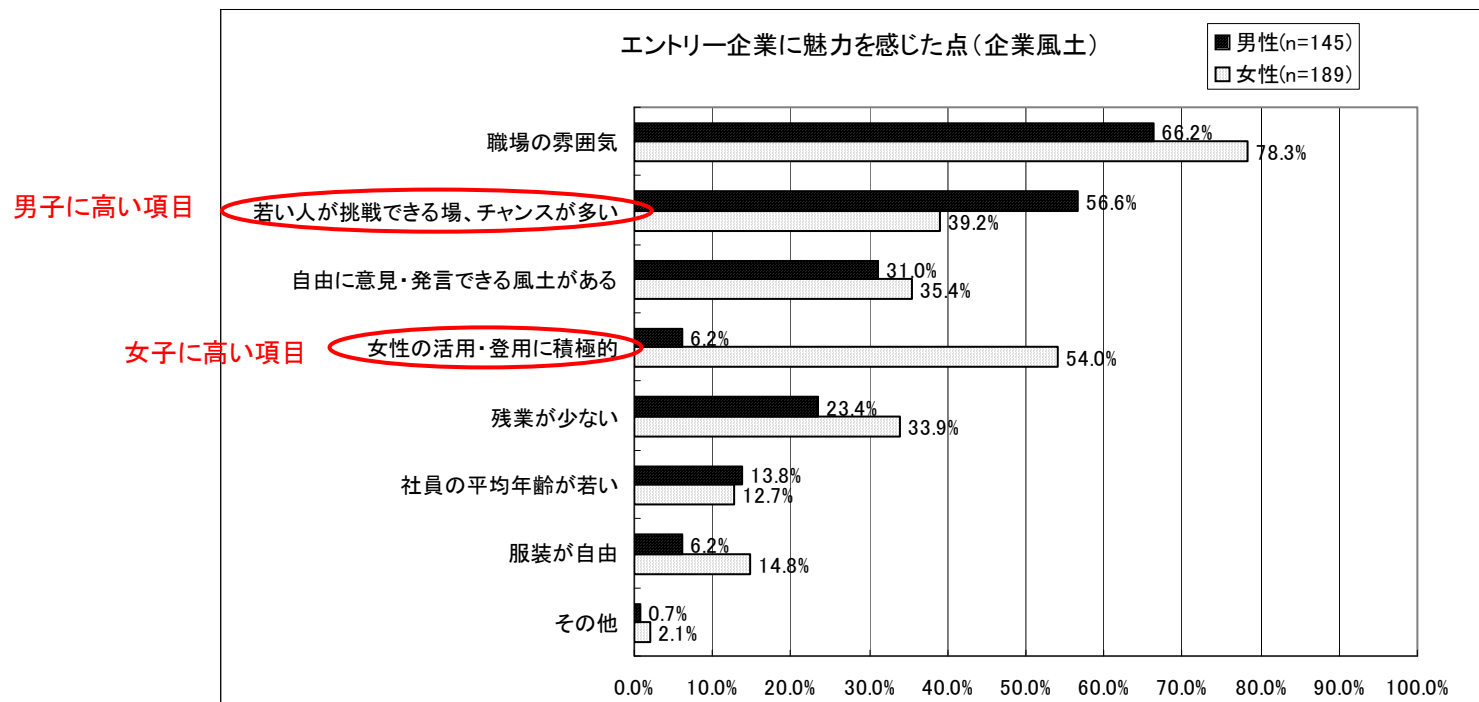


エントリー企業に感じた魅力

Q13.企業へのエントリー段階で、あなたがエントリー企業に感じた魅力は何ですか？企業、就業環境、企業風土それぞれの観点からお選び下さい。(MA)

＜職場の雰囲気＞の次に重視することは、男子は＜若い人が挑戦できる場、チャンスが多い＞こと、女子は＜女性の活用・登用に積極的＞。

■エントリー企業に魅力を感じた点 企業風土(MA) 男子/女子





■ 集計結果4 :大学の就職活動支援について

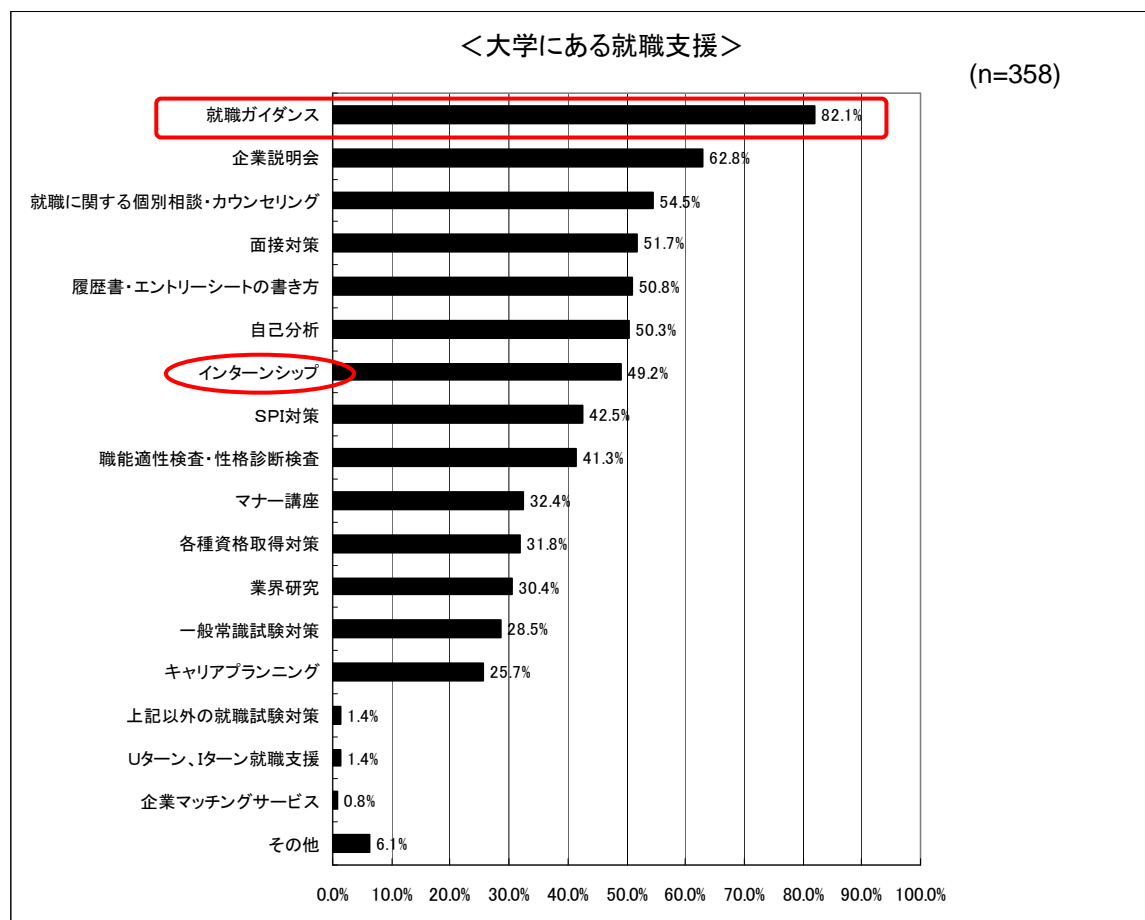
大学の就職支援内容

Q6-1.あなたの大学には、就職に関する支援(授業・講義など)として、どのようなものがありますか？(MA)

**<就職ガイダンス>は8割以上の学校で実施。
近年増えているインターンシップも5割近い大学で設置。**

■大学にある就職支援内容（全体）

※集計対象は全データ



・上記以外の就職試験対策・・・グループディスカッション、公務員試験対策、CAB・GAB対策 等
・その他・・・メイクアップ講座、証明写真の取り方 等

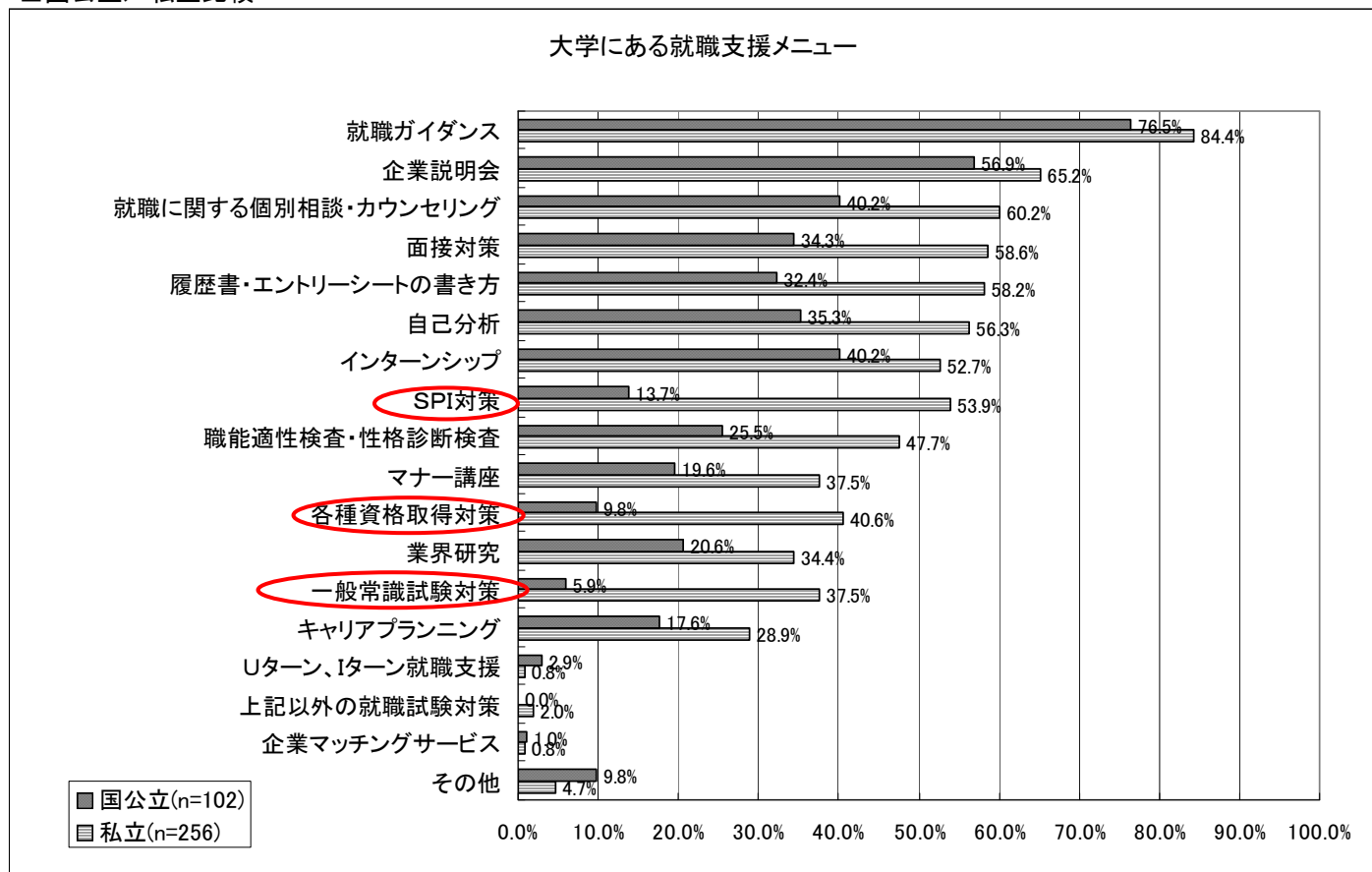
大学の就職支援内容

Q6-1.あなたの大学には、就職に関する支援(授業・講義など)として、どのようなものがありますか？(MA)

**全体的に国公立は支援が手薄。
 <SPI対策><各種資格試験取得対策><一般常識試験対策>に関しては特に大きな差。**

※集計対象は全データ
 ※差が30%以上の支援に丸

■国公立/私立比較



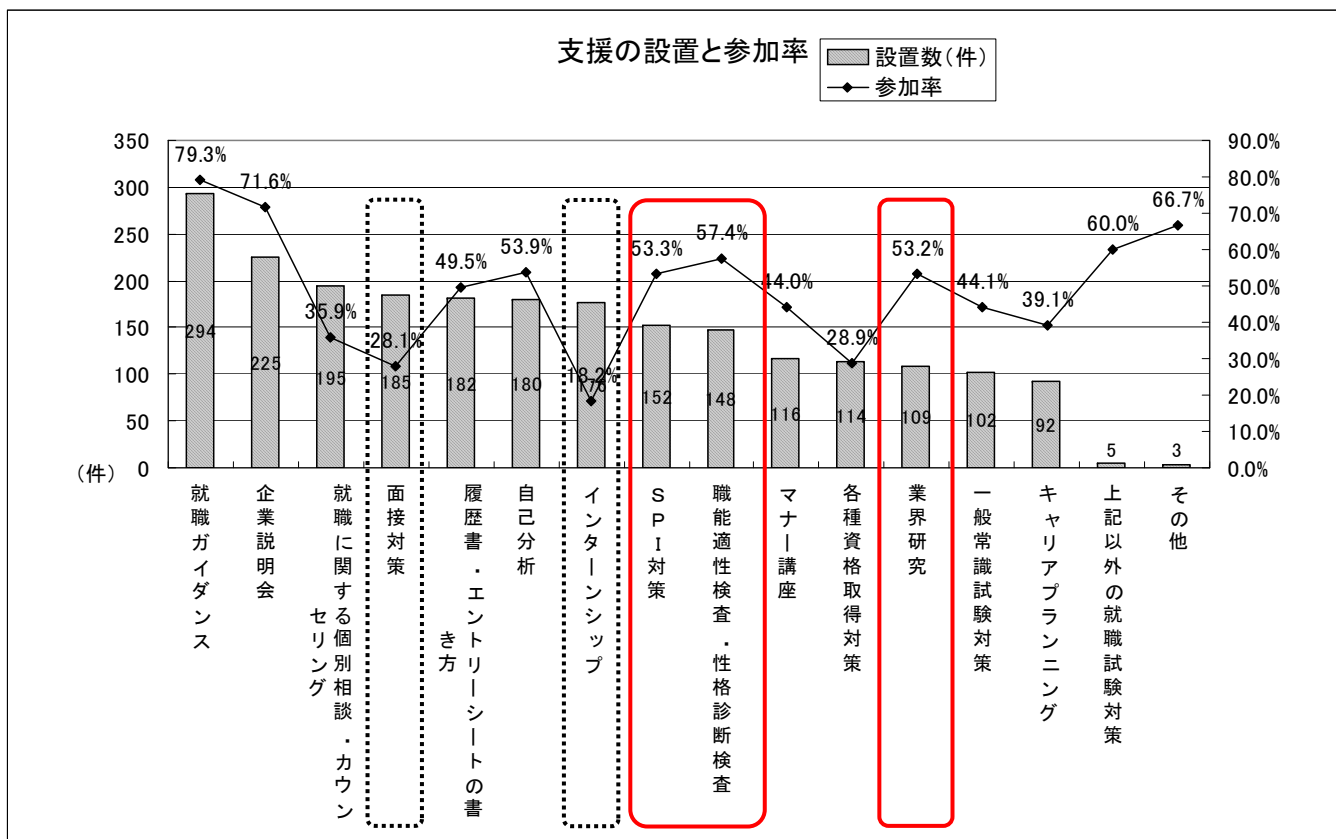
参加経験

Q6-2.お答え頂いた大学支援へのあなたの参加経験について教えてください。(SA)

**設置数が多いにも関わらず、参加者が少ないのは<面接対策><インターンシップ>。
設置数は少ないが、参加者が多いのは<SPI対策>、<職務適性検査・性格診断検査><業界研究>。**

※集計対象は全データ

■大学にある就職支援内容の設置状況と参加経験



※SPI対策、職務適性試験・性格診断検査は、1度に多くの人に参加できる点も設置数に対する参加率が高い要因の一つと考えられる。

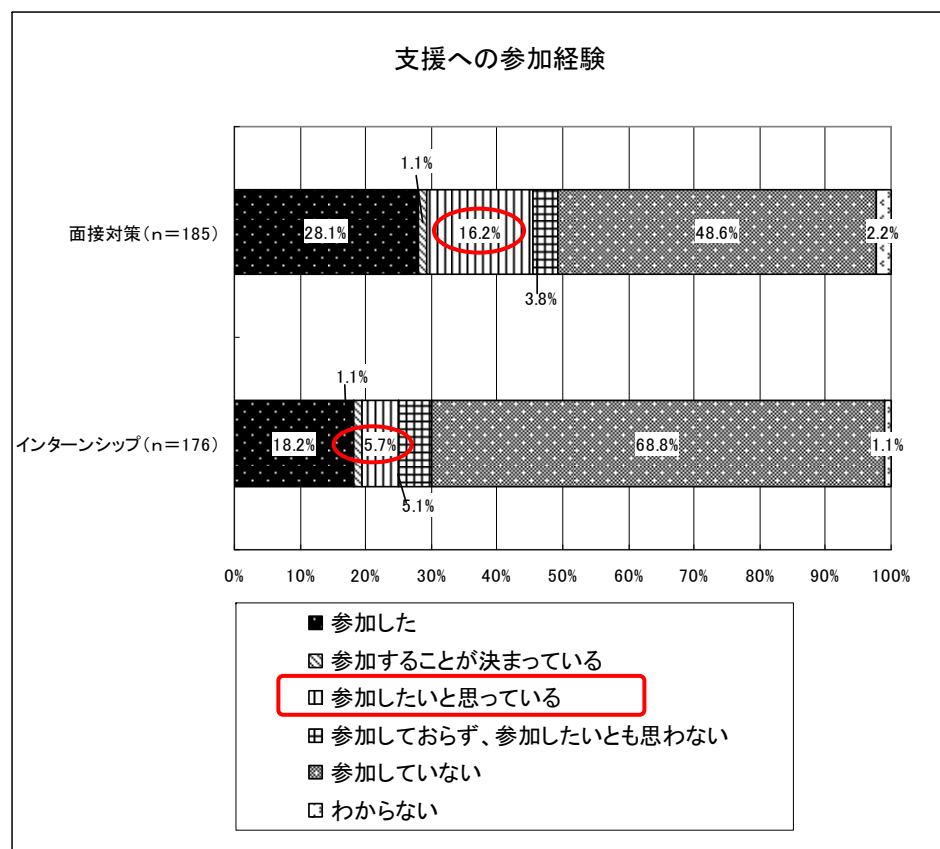
参加経験

Q6-2.お答え頂いた大学支援へのあなたの参加経験について教えてください。(SA)

**面接対策は<参加したいと思っている>学生の数も少なくない。
参加したくても出来ない何らかの事情がある可能性が伺える。**

■面接対策、インターンシップへの参加経験(詳細)

※集計対象は全データ



※面接対策に関しては、「参加したいと思っている」人の割合が16.2%あり、興味はあるが枠が十分でないなどの可能性が考えられる。
 ※インターンシップに関しては「参加したいと思っている」人の割合は5.7%であり、単純に参加する意思が低い結果と考えられる。

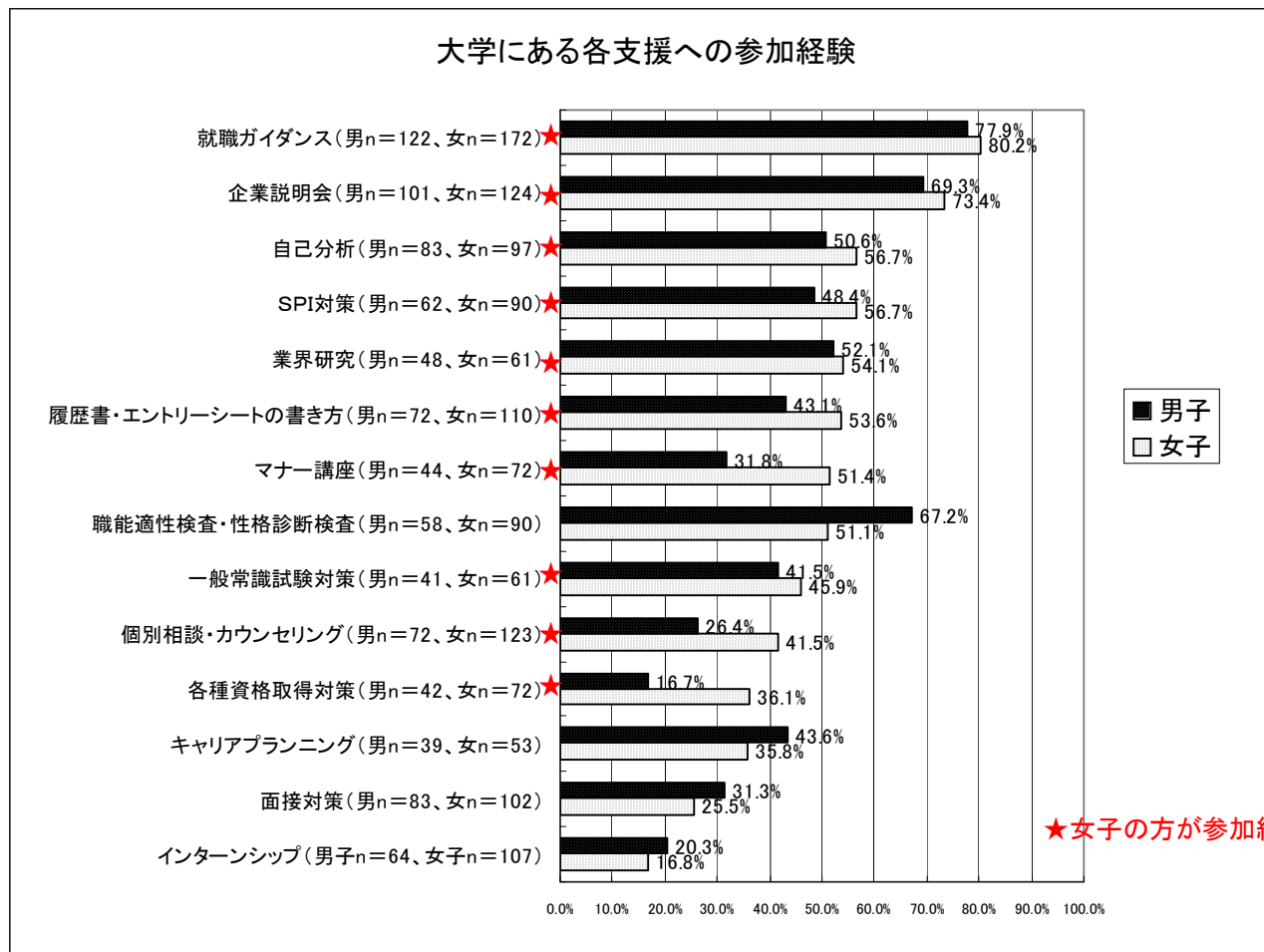
参加経験

Q6-2.お答え頂いた大学支援へのあなたの参加経験について教えてください。(SA)

女子の参加経験は、男子に比べ総じて高い。

■大学にある就職支援への参加経験(男子/女子)

※集計対象は全データ



役立ったと思うか？

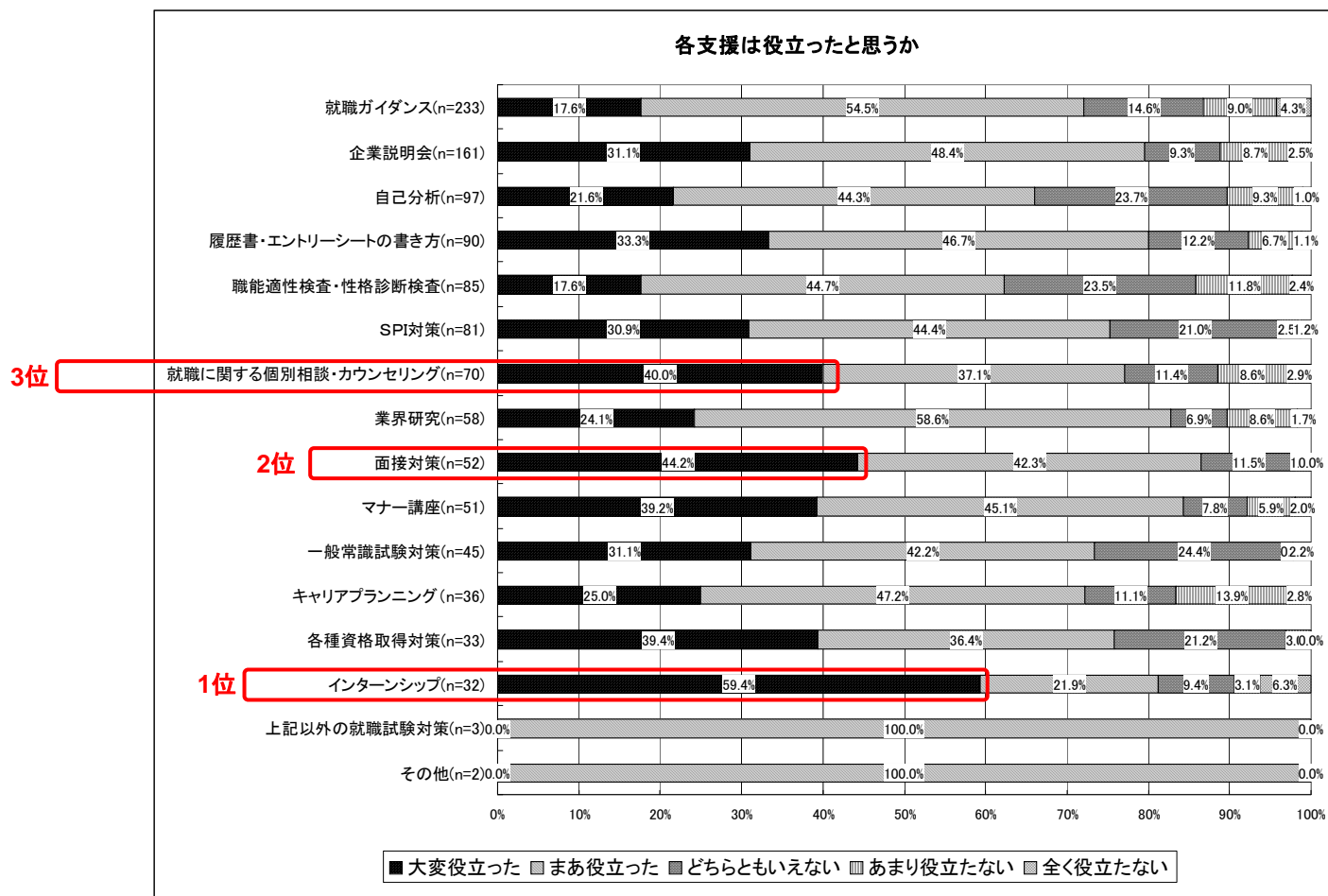
Q6-3. 参加された其々の大学による支援は、役立ったと思いますか？(SA)その理由もおしえて下さい。(FA)

**“大変役立った”支援の1位は<インターンシップ>。
<面接対策><個別相談・カウンセリング>等のパーソナル支援も高い支持。**

■支援内容評価（全体）

※集計対象は全データ

※参加経験が「ある」と回答した人を対象に集計



役立った理由・役立たなかった理由

Q6-3. 参加された其々の大学による支援は、役立ったと思いますか？(SA)その理由も教えて下さい。(FA)

■キャリアプランニング

○(役立った理由)

- ・実際に企業の方が来てお話をいただき、どういう姿勢で臨めば良いか分かった。(私立大学 男子)
- ・自分が大学卒業後にどのようになりたいのかを明確にすることができた。(私立大学 女子)
- ・自分には何があるのかという最初の触りになったと思うから。(私立大学 男子)

×(役立たなかった理由)

- ・志望業界が決まっていたので、参考にならなかった。(国公立大学 男子)
- ・一般的な内容すぎて自分でもどうにでも調べられる内容のものだったから。(私立大学 女子)

■就職ガイダンス

○(役立った理由)

- ・大学外の講師だったから。(国公立大学 男子)
- ・就職活動のおおまかな流れをつかむことができたので。(私立大学 女子)
- ・就職活動を始める心構えが出来た。(私立大学 女子)
- ・自分からは出てこない質問などに触れることが出来たから。(国公立大学院 男子)
- ・知っていることも多かったが、確認のためにも役に立った。(国公立大学院 男子)
- ・就職することに対してのモチベーションが高まった。(私立大学 女子)
- ・企業の人事の方の生の声が聞けた。就職活動の進め方を知ることができた。(私立大学 女子)
- ・どんな企業や職種があるのかがわかった。(私立大学 女子)

×(役立たなかった理由)

- ・既にしてしていることだった。(私立大学 男子)
- ・一般的な事柄が中心で、ネット上の情報との差異が感じられなかった。(国公立大学 女子)
- ・概要を説明するだけだったので、特別聞く必要性を感じなかった。(私立大学 女子)
- ・下手な鉄砲も云々にしか聞こえなかった。(私立大学 男子)

■自己分析

○(役立った理由)

- ・自分を振るかえるきっかけになった。(私立大学 女子)
- ・自分を客観的に見ることができた。(私立大学 女子)
- ・自己分析が苦手だったけど何となく書き方が分かって良かったため。(私立大学 女子)
- ・自分一人では自己分析がうまくできなかったから。(私立大学 女子)

×(役立たなかった理由)

- ・大勢でプリントを使ってするので、深いところまではせず、役に立ったのかわからない。(私立大学 女子)
- ・ほぼ思っていた結果だったから。(私立短大 女子)

■職能適性検査・性格診断検査

○(役立った理由)

- ・自分が何に向いているか、自分の性格や特徴はどんなものか分かることができたから。参考になった。(私立短大 女子)
- ・一種の指標になる。特に自分の不得意なことと得意なことは職種を決める際にも重要なファクターになった。(私立大学 男子)
- ・自分を客観的に見ることができた。(私立大学 女子)

×(役立たなかった理由)

- ・就職活動をする上であまり必要とは感じなかった。学生時代の視点からみる社会と就職してからの自分のギャップがわかったときに初めてわかるのではないかと感じた。(国公立大学 男子)
- ・金を払ったわりには、単なる性格テストのようなものでなんだかなあと思った。(国公立大学 女子)

役立った理由・役立たなかった理由

Q6-3. 参加された其々の大学による支援は、役立ったと思いますか？(SA)その理由も教えて下さい。(FA)

■業界研究

○(役立った理由)

- ・業界全体の話を知ることができたので良かった。(私立大学 女子)
- ・業界の現状をみんなでディスカッションすることで理解することができた。(私立大学 女子)
- ・業界研究の基本的な方法を知ることが出来たから。(私立大学 女子)
- ・興味のない業界にも少し興味が出たため。(国公立大学 女子)
- ・業界のことを全く知らなかったのを、社会の仕組みなどを教えてもらえた。また、これから伸びていく業界や衰退していくと思われる業界や、企業の取り組みなど、かなり具体的に知ることができた。(私立大学 女子)

×(役立たなかった理由)

- ・自分で調べられる内容以上のものが得られなかった。(国公立大学 男子)
- ・ありきたりなことしか聞くことができなかった。(国公立大学 男子)

■企業説明会

○(役立った理由)

- ・興味のなかった企業でも実際に説明を聞いてみるとすごく良かったりしたから、参加してほんとに良かったです。(私立大学 女子)
- ・学校内での企業説明会は授業の空き時間を有効に活用する事にもつながり、気軽な気持ちでいけるので良い。(国公立大学 男子)
- ・企業の人の本音を聞くことができました。(私立大学 男子)
- ・企業側の方と直接お話しができたから。(私立大学 男子)
- ・まとめて知名度の高い企業の説明会に参加する事が出来る。合同企業説明会よりも回数が頻繁である。(私立大学 女子)

×(役立たなかった理由)

- ・多くの企業が参加するため時間が短い。また、講義の延長のような軽い気持ちなのか遅刻して参加する学生もいた。(私立大学 男子)
- ・聞きたいことをあまり聞けなかったから。(私立大学 男子)
- ・ありきたりの話しかなかった。(私立短大 女子)

■SPI対策

○(役立った理由)

- ・危機感を感じた。(私立短大 女子)
- ・ある程度どんな問題が出るか、知ることができた。(私立大学 女子)
- ・学校内でSPIをやって自分自身に危機感を覚え基本から鍛えなおして本番までには一定のレベルまで行けたので非常に役立った。(国公立大学 男子)
- ・自分の実力がわかって為になった。(私立大学 男子)

×(役立たなかった理由)

- ・講義を受けるまでもなく、独学で何とかなんとわかったため。(私立大学 男子)
- ・開催時期が早く、意識が低いまま受けたため、それほど身につかなかった。(私立大学 女子)

■一般常識試験対策

○(役立った理由)

- ・ある程度どんな問題が出るか、知ることができた。(私立大学 女子)
- ・就職活動で実際にテストを受けた会社で20社ほどテストしたが一般常識問題が出題された企業は1社だけだった。あまり必要では内容に感じた。(国公立大学 男子)
- ・自分のレベルがどの位置にあるか分かったから。(私立大学 女子)

×(役立たなかった理由)

- ・テキストを買い、納得いくまで自分で考えた方が良い。(私立大学 男子)
- ・まだ効果が実感できてない。(私立大学 男子)

役立った理由・役立たなかった理由

Q6-3. 参加された其々の大学による支援は、役立ったと思いますか？(SA)その理由も教えて下さい。(FA)

■面接対策

○(役立った理由)

- ・一度練習してみるのと、しないのでは本番に大きな差が出る。また、本番の面接では細かい評価を教えてもらえないから、参考になった。(私立大学 男子)
- ・私の学校ではグループディスカッションを重点的に行った。講師の先生がポイントを解説した後、実際に生徒で行うそのおかげで、実際の会社でグループディスカッションをした際うまくできた。(私立大学 男子)
- ・座り方や入退室時の流れなど、具体的に指導してもらったのが良かった。(私立大学 男子)
- ・専門家の人が学校に来てくれる。(私立大学 女子)

×(役立たなかった理由)

- ・簡単なものだったので、本番を受けてみるとたいして役に立たなかった。(私立大学 女子)
- ・全員を同じよう指導していた。もっと個人的にサポートしてほしい。(私立大学 女子)

■履歴書・エントリーシートの書き方

○(役立った理由)

- ・具体的な書き方を知れたり、例を見れたりしたのがよかったから。(私立短大 女子)
- ・何度も見てもらえてだんだんいいものが書けるようになったから。(私立大学 女子)
- ・他の人の目を通すことによって、わかりづらい表現などが排除できた。(私立大学 男子)
- ・添削してもらえたのがありがたかった。添削がないと通らないという事実を知った。(私立大学 男子)
- ・話を聞いても実際に自分で書けなかったから。(私立大学 女子)

×(役立たなかった理由)

- ・外部のセミナーの内容のほうがためになった。(私立大学 女子)
- ・企業によって変わるのでなんとも言えない。(国公立大学院 男子)

■マナー講座

○(役立った理由)

- ・講師の方を招いての講座なので、わかりやすく詳しく良かったから。(私立短大 女子)
- ・間違った覚え方をしているものもあったので役立った。(私立大学 女子)
- ・少人数制で丁寧に教えてくれた。(私立大学 男子)
- ・本を読んで勉強するのではなく、一時間程度で色々知ることが出来た(国公立大学院 女子)
- ・マナーを教わることはそうないと思うから。(私立大学院 女子)

×(役立たなかった理由)

- ・知識は増えましたが実践としての経験が授業内ではできないので実際にできるかどうか不安です。(私立大学 女子)
- ・知っているマナーだったから(私立大学 女子)

■インターンシップ

○(役立った理由)

- ・自分の行きたい業界の仕事を知るうえで重要なこと。実際に現場と一緒に仕事をすること、他では得ることの出来ないほどの情報量になる。(私立大学 男子)
- ・希望する業界・職種に関わらず、社会人の仕事を体験できたのは必ず役に立っていると思う。(私立大学 男子)
- ・企業をすることができて、就職活動にやる気が出ました。(国公立大学 男子)
- ・志望する業界を定めることができたため。(国公立大学院 女子)
- ・参加して、世の中の会社とはどういうものかを知ることができた(私立大学 女子)
- ・人脈が出来た(私立大学 女子)

×(役立たなかった理由)

- ・受け入れ先の企業では、受け入れの体制でなく、ほとんど何も経験することができなかったから。(私立短大 女子)
- ・学校推薦でいったが自分で企業をみつけていったほうがよかった。(私立大学 女子)
- ・実際に企業で体験できるのは良い事ですが、希望にはそぐわなかったのと、期間が短かったため。(国公立大学院 男子)

役立った理由・役立たなかった理由

Q6-3. 参加された其々の大学による支援は、役立ったと思いますか？(SA)その理由も教えてください。(FA)

■各種資格取得対策

○(役立った理由)

- ・1年間で12つもの資格を採ることでため。 (私立短大 女子)
- ・資格をとるのに独学はきびしいなどは感じていたが、通塾することもできなかったで、とても助かった。 (私立大学 女子)
- ・簿記の資格取得のため講座を受講したが専門学校で受けるよりも割安で受けられるので金銭面でとても助かった。 (私立大学 男子)
- ・半額以上が大学の補助なので格安だったから。 (私立大学 男子)
- ・個人で勉強するとまけてしまうが、授業ということで友人と励ましあいながら勉強できたから。 (私立大学 女子)

×(役立たなかった理由)

- ・資格は特に必要ないと感じた。 (私立大学 女子)
- ・はっきり言って自力で頑張ったとおもうから。 (私立大学 男子)

■就職に関する個別相談・カウンセリング

○(役立った理由)

- ・どうすればいいのかわからない時に様々な提案をしてもらえたから。 (私立短大 女子)
- ・キャリアセンターの人だけでなく、就活を終えた4年生の人も相談に乗ってくれる (私立大学 女子)
- ・やる気と元気がでる。今すべきことが明確になる。 (私立大学 女子)
- ・ひとりひとりに合ったアドバイスがもらえたから。 (私立大学 女子)
- ・相談できて気持ちが落ち着いた。 (私立大学 女子)

×(役立たなかった理由)

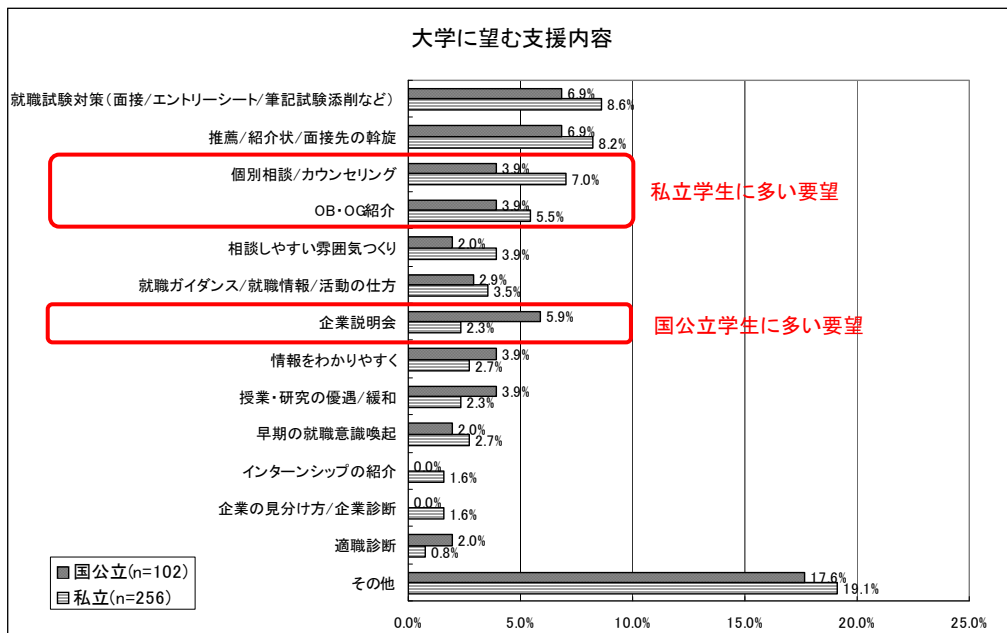
- ・志望業界が特殊だったせいか、相談に行っても、あまり良いアドバイスがもらえなかった。 (私立大学 女子)
- ・職員の人に差がありすぎる。 (私立大学 女子)
- ・いまいち、ぱっとした答えが得られなかった。 (国公立大学 女子)

大学にして欲しい支援内容

Q9.自身の進路選択もしくは就職活動に際して、大学側にどのような支援をして欲しいと思いますか？(FA)

**全体的に多い意見は<就職試験対策><推薦/紹介/面接先の斡旋>。
“一般的な支援”の充実を望む国公立学生、“マンツーマン指導・支援”の充実を望む私立学生。**

※集計対象は全データ ※FAをアフターコーディングにより数値化



<就職試験対策(面接対策/エントリーシート/筆記試験添削など)>

- ・面接の練習やエントリーシートの添削。(国公立 女子)
- ・面接対策の強化(私立大学 女子)
- ・筆記試験の対策問題をもっと就職課に置いてほしい。(私立 男子)

<推薦/紹介状/面接先の斡旋>

- ・大学からの推薦制度。または指定企業などがあると良い。(私立 男子)
- ・推薦体制をつくってほしい。実験をすすめられない。(国公立 女子)
- ・就職の確実性の高い企業への推薦。(私立 女子)

<個別相談/カウンセリング>

- ・個別の面談を今後も続けてほしい。(私立 女子)
- ・個別に相談にのって欲しいが、就職支援室の敷居が高い。(国公立 女子)
- ・カウンセリング。一度、相談に行ったが、余計に落ち込んで終わった。(私立 女子)
- ・個別の面談を必須でして欲しい。キャリアセンターに来た人だけを対称にするのではなく。(私立 男子)
- ・自分に適した企業を探す補助をしてほしい。(国公立 男子)
- ・カウンセリングの強化。(私立 女子)

<OB・OG紹介>

- ・OBを集めた説明会。(国公立 女子)
- ・就職活動を終えた先輩や卒業生の方の話を聞く機会がほしい。(私立 女子)
- ・最新のOBOG名簿。(私立 男子)
- ・OB・OG訪問をもっとしやすくして欲しい。(私立 女子)
- ・OB・OG訪問の窓口的役割をもう少し果たしてほしい。(私立 女子)

<相談しやすい雰囲気作り>

- ・そもそもキャリアセンターが何を支援してくれるのかをもっと積極的にPRして欲しい。もっと気軽に相談に乗ってくれるような雰囲気作り。
- ・企業からの求人情報の誘致と、求人情報をもっと目に付くようにしてほしい。(私立 女子)
- ・もっとアットホームな環境を整えてほしい。(国公立 女子)
- ・就職課はなんとなく入りづらい。そのため、もっと開放的な雰囲気を作ってほしい。(私立 女子)
- ・支援ではないが対応が悪い人とよい人の差がありすぎます。(私立 女子)
- ・親身ある視点で話して欲しい。(私立 男子)

大学にして欲しい支援内容

Q9.自身の進路選択もしくは就職活動に際して、大学側にどのような支援をして欲しいと思いますか？(FA)

<就職ガイダンス/就職情報/活動の仕方>

- ・希望する企業への就職の前例、今どのように動けばいいのか支援してほしい。(私立 女子)
- ・就職についてもっといろいろ教えてほしい。(国公立 男子)
- ・キャリアガイダンスを充実させてほしい。(国公立 女子)
- ・就職に関する情報の掲示・企業との連絡・ガイダンス・説明会。(国公立 男子)

<企業説明会>

- ・業界別説明会とかですかね。(私立 女子)
- ・たくさん企業の会社説明会を増やして欲しい。(国公立 男子)
- ・学内の合同会社説明会を増やしてほしい(国公立 男子)
- ・もっと多様な企業の説明会をしてもらいたい。学部学科にとらわれず。(私立 男子)
- ・企業の説明会の大学での開催 大抵、大阪まで行かなくてはならぬ時間・資金的に大変なので。(国公立 男子)

<情報をわかりやすく>

- ・もっと、情報は明確にしてほしい。
結局、学校の職員の人々の統制がちゃんと整っていないので、使いにくい。(私立 女子)
- ・情報をわかりやすく開示してほしい。(国公立 女子)
- ・推薦などの情報をもっとわかりやすくしてほしい。(国公立 女子)
- ・会社説明会等の掲示なり、連絡をもっと行って欲しい。
出来れば大学のメールに一斉送信することは出来ないだろうか。(国公立 男子)

<授業・研究の優遇/緩和>

- ・出席日数減らせ。(私立 女子)
- ・授業の優遇、就職先の推薦。(私立 男子)
- ・授業を休まないといけないのでその対応をもっとよくしてほしい。(国公立 女子)
- ・研究活動の緩和。(私立 男子)
- ・就職先が決まるまで、研究活動をしないでよいという制度を作ってほしい。両立は無理。
(私立 女子)

<早期の就職意識喚起>

- ・もっと本質的な就職活動の支援をしてほしい。
「就職活動」以前の、なぜそれをするのか、というところから見直す機会を設けてほしい。(国公立 女子)
- ・就職活動を意識させ、早期の行動を促すよう、必須授業で就職に関する授業を作ったりしてくれるとか、就職に関するガイダンスを一、二年生に行ってくれると非常にありがたかったです。(私立 男子)
- ・2年生くらいから支援してほしい。追い込んで欲しい。(私立 女子)
- ・もっと早くサポートしてもらいたかった。(私立 女子)

<インターンシップの紹介>

- ・自分自身に関しては特に無いが、インターンシップは毎年開催できれば望ましいと思う。(私立 男子)
- ・インターンシップの紹介。(私立 男子)
- ・OBの会社でのインターンシップ拡大。(私立 女子)

<企業の見分け方/企業診断>

- ・それぞれの企業の将来性を判断して欲しい。(私立 女子)
- ・企業研究についての説明をしてもらえたら嬉しい。(私立 女子)
- ・優良企業の見分け方。(私立 男子)
- ・この企業がおすすめなどを聞きたい。(私立 男子)

<適職診断>

- ・自分にあった職業が分かるようなテストみたいなやつをやしてほしい(私立 男子)
- ・自分に適した企業を探す補助をしてほしい。(国公立 男子)
- ・自分がどの職業に向いているのか、それにあったマッチングなどをしてほしい。(国公立 女子)

<その他>

- ・地方から来ている人の為に、地方用の求人情報をもっと集めてほしい。(私立 女子)
- ・企業のマイナス面も教えてくれるようなものがあるといい。(私立 女子)
- ・交通費支援。(私立 女子)
- ・各証明書の金額をできるだけ安くしてほしい。(私立 女子)
- ・外部講師をどんどん呼んでほしい。(私立 女子)
- ・面接練習、東京・大阪などへの就活バスの増便。(私立 男子)
- ・相談員の質。就職支援会社との連携強化。(国公立 女子)
- ・理系文系では就職活動の仕方が違うので、より役立てるように理系用の説明会を開催して欲しい。
(国公立 女子)
- ・精神論ではなく、もっと具体的なアドバイスが欲しい。例えば県庁所在地から離れた地区に住んでいるなら、説明会は1日に複数入れるようにした方がいいとか、成功談よりも失敗談。半強制的にでもインターンや資格取得のアピール等。(私立 女子)



■ 集計結果5 : 大学以外の外部団体の
就職活動支援について

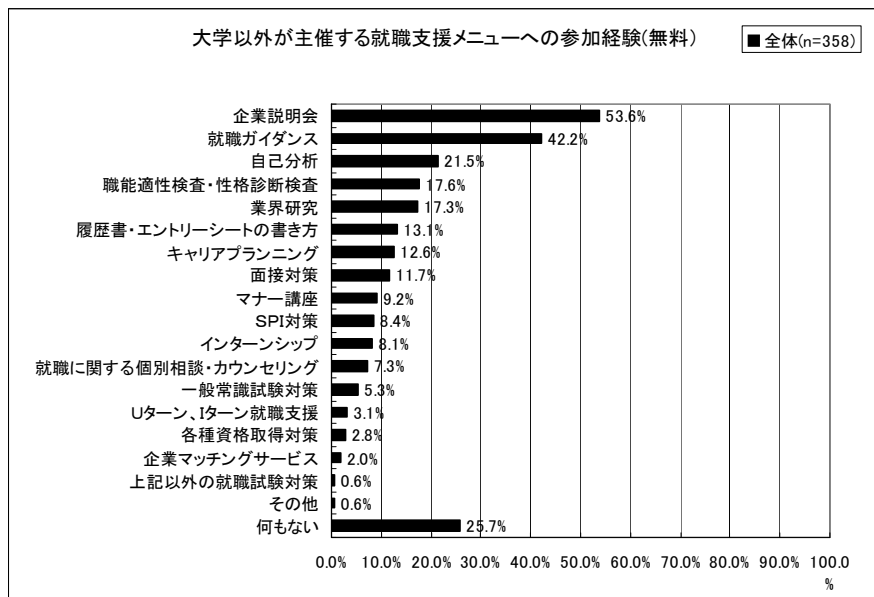
大学以外が主催する就職支援への参加経験

Q7-1.大学以外の外部(団体・企業等)が主催・提供する就職支援の中で、あなたが参加したことのあるものを全て教えてください。(MA)

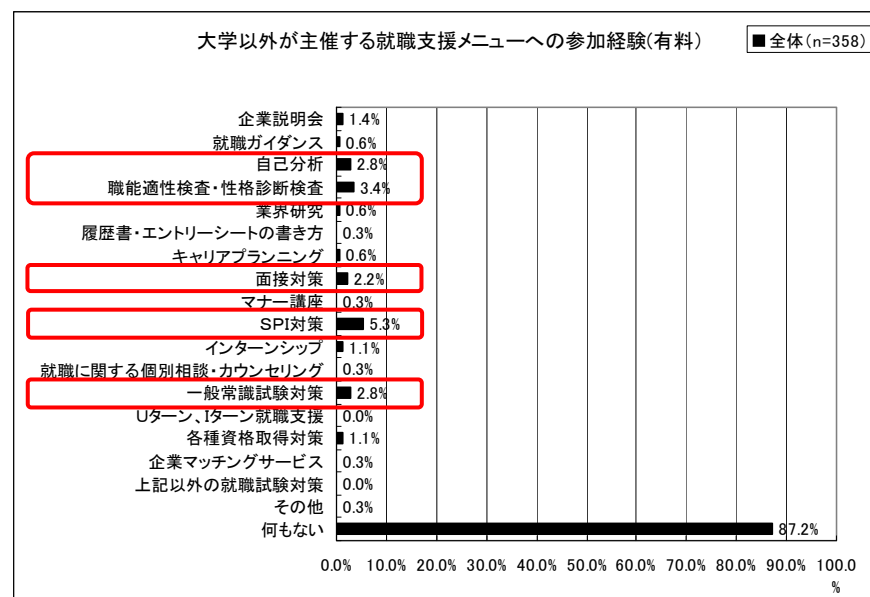
有料でも参加している就職支援は、パーソナルな対応や細かいフォローがある支援に限られる。

※集計対象は全データ

■参加経験のある就職支援(無料)



■参加経験のある就職支援(有料)



・無料・有料支援ともに、その他は、メイクアップ講座

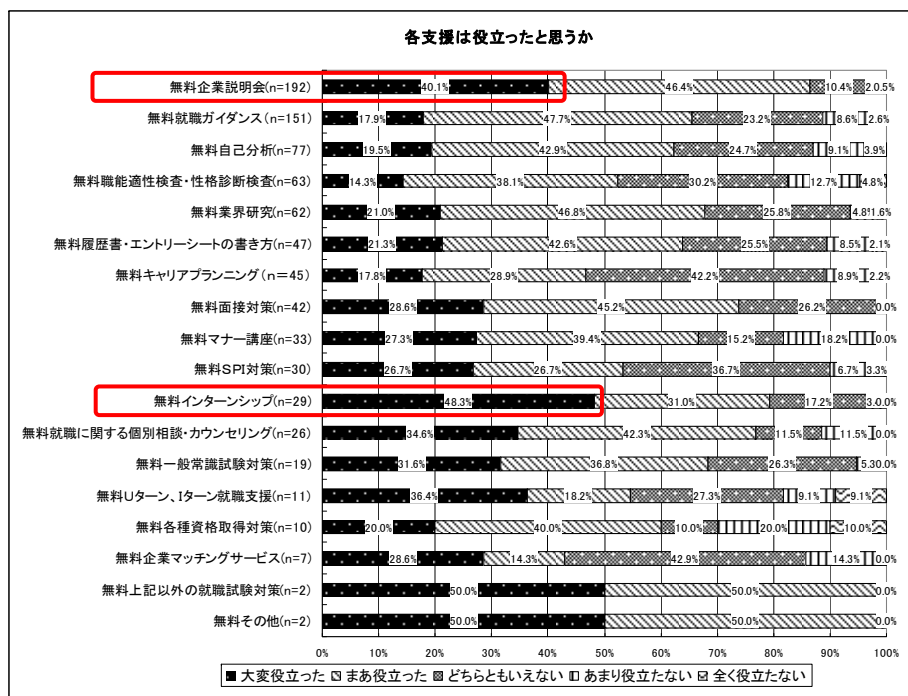
役立ったと思うか？

Q7-2.参加された其々の外部による支援は、役立ったと思いますか？(SA)その理由も教えてください。(FA)

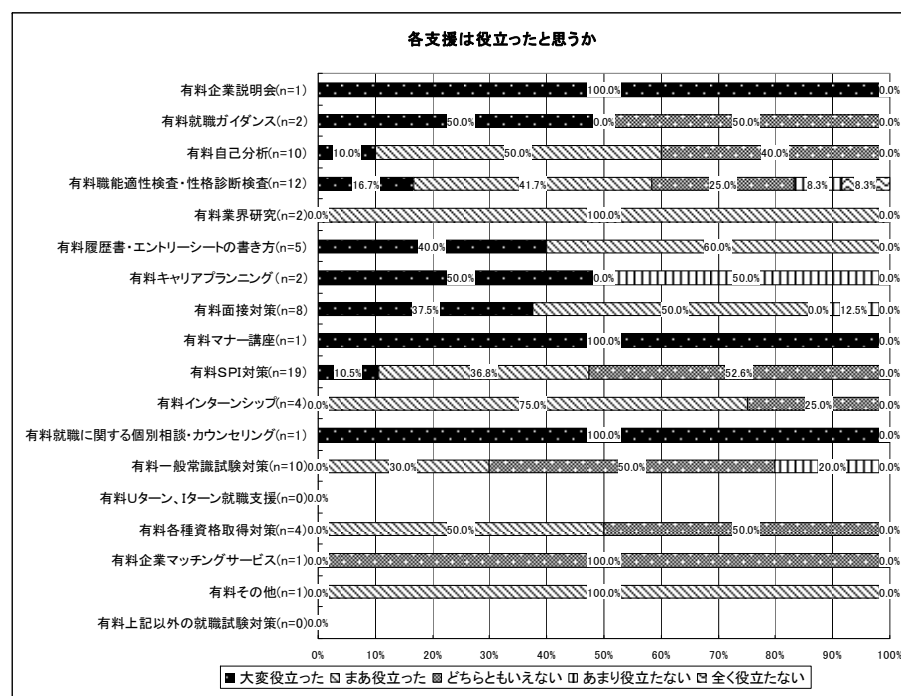
無料支援において、“大変役立った”が多かったのは<インターンシップ><企業説明会>

※参加経験が「ある」と回答した人を対象に集計

■無料の支援メニュー評価



■有料の支援メニュー評価

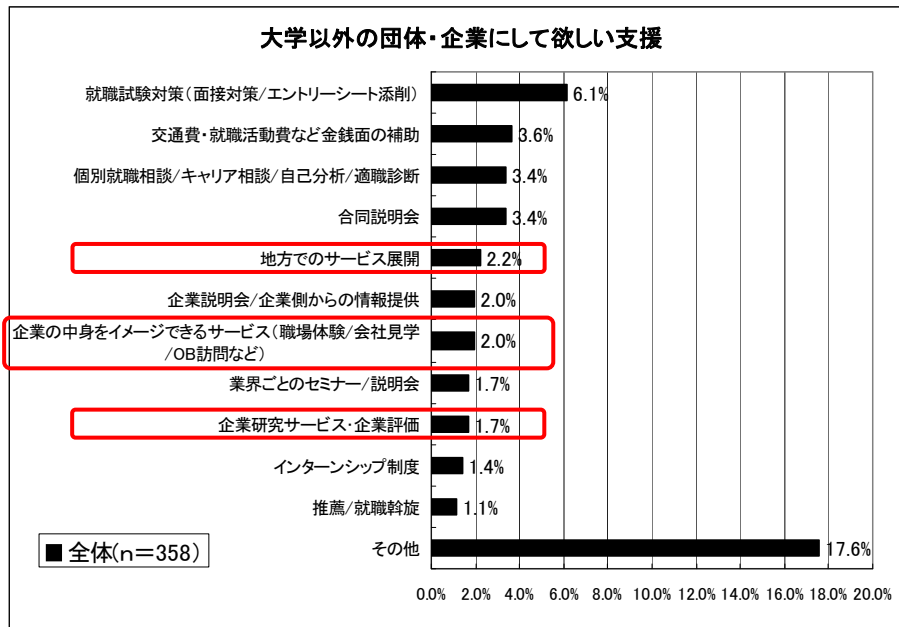


大学以外の団体・企業にして欲しい支援内容

Q10.自身の進路選択もしくは就職活動に際して、大学以外の外部の団体・企業にして欲しい支援、あったらいいなと思う支援は何ですか？(FA)

“大学への要望”と違いが特徴的な意見は、〈地方でのサービス展開〉、〈企業の中身をイメージできるサービス〉、〈企業研究サービス・企業評価〉。

※FAをアフターコーディングにより数値化



〈交通費・就職活動などの金銭面の補助〉

- ・交通費の割引や遠隔地の宿泊・交通の斡旋。(国公立 女子)
- ・資格試験対策の低料金化。(私立 男子)
- ・資金面での支援。(就職ローン、就職活動奨学金など)(国公立 男子)
- ・交通費支給。(私立 男子)

〈個別就職相談/キャリア相談/自己分析/適職相談〉

- ・自己分析の手助けをしてほしい。(私立 女子)
- ・就職相談、初期段階における模擬面接等。(国公立 女子)

〈合同説明会〉

- ・ブースが狭いところは入りにくいので、人気企業だけを集めたセミナーなど分けた企業説明会を実施してほしい。(私立 男子)
- ・あんまり混んでない合同説明会。(私立 女子)
- ・交通の便が良いところで、なるべく多くの企業が集まるようなイベントを開催してほしい(国公立 女子)。

〈就職試験対策(面接対策/エントリーシート添削)〉

- ・エントリーシート対策講座、面接講座、就職相談。(私立 女子)
- ・就職対策。学力試験も面接も。ほかに最低限しなければならないことを言ってる講義とか。(私立 女子)
- ・SPI対策、面接でのマナー。(国公立 女子)
- ・人事、面接官の目線を知りたい。(私立 女子)
- ・無料の面接対策。学校に来てくれるといいなと思う。(私立 女子)

〈地方でのサービス展開〉

- ・大手の合同企業説明会を地方でも！！(国公立 女子)
- ・地方でももっと色々な対策講座をやしてほしい(国公立 女子)
- ・自分のキャリアをどうするか相談する機会を都心部だけでなく地方でもやって欲しい。(国公立 女子)
- ・関西でもっと説明会を開いて欲しい。(私立 女子)

〈企業説明会/企業側からの情報提供〉

- ・企業からの率先的な大学へのはたらきかけ。例えば、企業アピールなど。(国公立 女子)
- ・説明会を増やす。(国公立 男子)
- ・企業の情報をもっと知りたい。(私立 女子)

大学以外の団体・企業にして欲しい支援内容

Q10.自身の進路選択もしくは就職活動に際して、大学以外の外部の団体・企業にして欲しい支援、あったらいいなと思う支援は何ですか？(FA)

<企業の中身をイメージできるサービス(職場体験/会社見学など)>

- ・企業の人からさらに深くお話を聞けるような場所を作ってほしいです。(私立 女子)
- ・仕事体感セミナーなど、イメージできるものがあればたくさん参加したい。(私立 女子)
- ・OB訪問のような、実際に働いている社員に採用とは関係なく話し合いを行える環境をセッティングしてほしい。(私立 男子)
- ・会社見学、工場見学のツアー。(国公立 男子)
- ・実際の労働環境を知れるサービスがあったらいいと思う。(国公立 女子)

<業界ごとのセミナー／説明会>

- ・業界ごとのセミナーをもっと充実させて欲しい。(国公立 女子)
- ・業界研究のセミナーがあればいいと思います。そしてどちらかといえば大都市(東京・大阪など)に偏っているので、地方でもやって欲しいです。(私立 女子)
- ・細かい分野に絞ったセミナー。(私立 女子)
- ・業界ごとの説明会など。(国公立 男子)

<企業研究サービス・企業評価>

- ・企業研究のサービスをもっとしてほしい。(私立 男子)
- ・企業評価。(私立 男子)
- ・多くの企業情報の公開と適正な評価。(国公立 男子)
- ・様々な業界をざっと紹介して視野を広げてくれるセミナーを催してほしい。(私立 女子)
- ・大学の企業研究では少々役不足なので、企業研究に力を入れていただきたい。(国公立 男子)

<インターンシップ制度>

- ・インターンシップを通して採用されるような制度。(私立 男子)
- ・インターンシップの斡旋。(私立 男子)
- ・インターンシップがもっとたくさんあると良い。(私立 女子)

<推薦／就職斡旋>

- ・自己分析をしてくれて、自分に合った企業を紹介してほしい。(私立 女子)
- ・就職を斡旋してほしい。(国公立 男子)
- ・就職先の紹介。(国公立 男子)

<その他>

- ・大学・短大・専門卒業に限らず、その人がどれだけ出来るかという事を見てほしい。(私立 女子)
- ・夢や目標を定め、プランを描き、自分らしさを確立する力を養うセミナー。(私立 男子)
- ・海外の大学からの内定者が何人くらいかを教えてくれるところ。(私立 男子)
- ・企業ごとに違う就職試験を一度に受けれる支援があれば便利。(私立 男子)
- ・秋口採用情報。(私立 男子)
- ・さいと「みんなの就職活動日記」のようなサービス。また、このサイトにもっと早く出会いたかった。(私立 女子)
- ・同じ業界を目指す人、同じ職種を目指す人が集まって友人を増やす機会があればよいと思う(私立 女子)
- ・情報が多すぎる。(国公立 男子)
- ・一番大学生で厳しいのは文系の大学院生である。
文系の院生専用の就職サイトがあればいいと思う。(私立 男子)
- ・各企業各分野の交流会。(私立 女子)
- ・模擬就職活動ES一筆記一面接の流れを2~3日使って行う。(国公立 男子)
- ・就職サイトを統一してほしい。(国公立 女子)
- ・現時点でサービスがありすぎて使いこなすことが出来ない。(国公立 女子)
- ・みんなの就活日記の企業からの意見のあるサイト。(私立 男子)
- ・迷惑メールフィルターのように来てほしくない会社の情報をカット。(私立 男子)



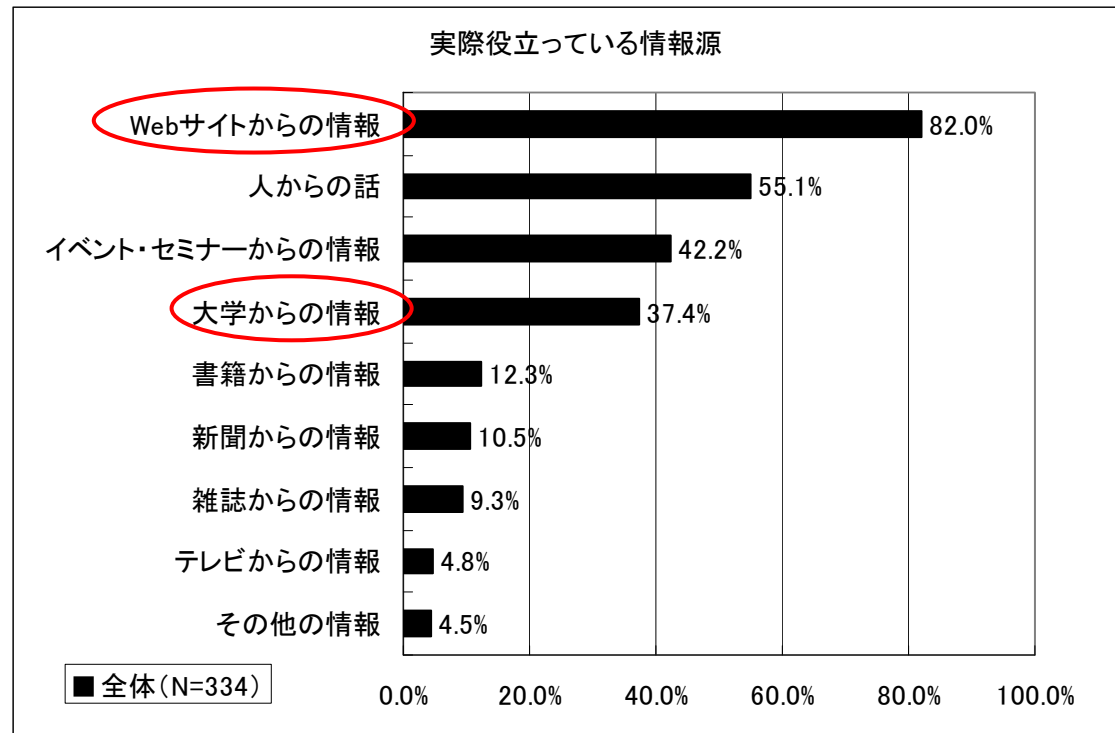
■ 集計結果6 : 役立った情報・足りない情報

役立った・役立っている情報

Q11.就職活動の中で、実際に役立っている情報は、どこからの情報ですか？(MA) また、それはどのように役立っていますか？(FA)

**最も役立っている情報源として、8割以上の学生が<WEBサイトからの情報>と回答。
<大学からの情報>は<人>、<イベント・セミナー>より下位にランクイン。**

■実際に役立っている情報はどこからの情報か？(MA)



・その他情報・・・ゼミの先生、ほかの先生など

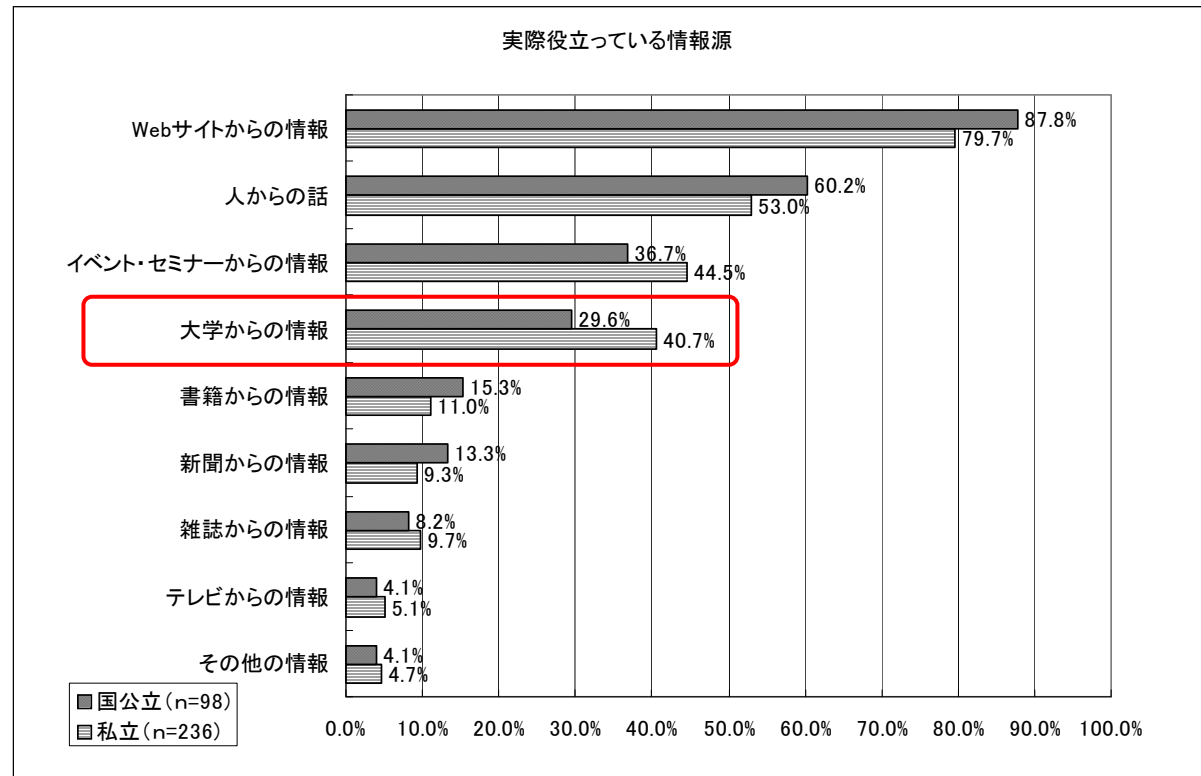
役立った・役立っている情報

Q11.就職活動の中で、実際に役立っている情報は、どこからの情報ですか？(MA) また、それはどのように役立っていますか？(FA)

私立学生の方が、国公立学生より<大学からの情報>を役立つと感じている。

※集計対象は全データ

■実際に役立っている情報はどこからの情報か？(国公立／私立)



役立つ・役立つしている情報

Q11.就職活動の中で、実際に役立つ情報は、どこからの情報ですか？(MA) また、それはどのように役立っていますか？(FA)

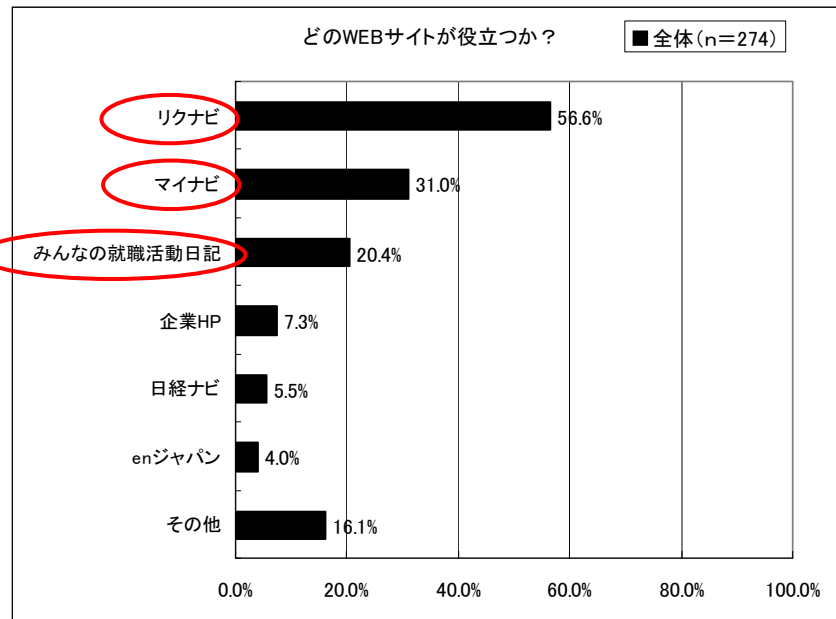
(WEBサイトからの情報)

**企業研修/会社探し/エントリーなどの基本機能を備えた<リクナビ><マイナビ>の支持に次いで
“企業の様子”“他人の状況”が知れる<みんなの就職活動日記>も上位にランクイン。**

※集計対象は全データ

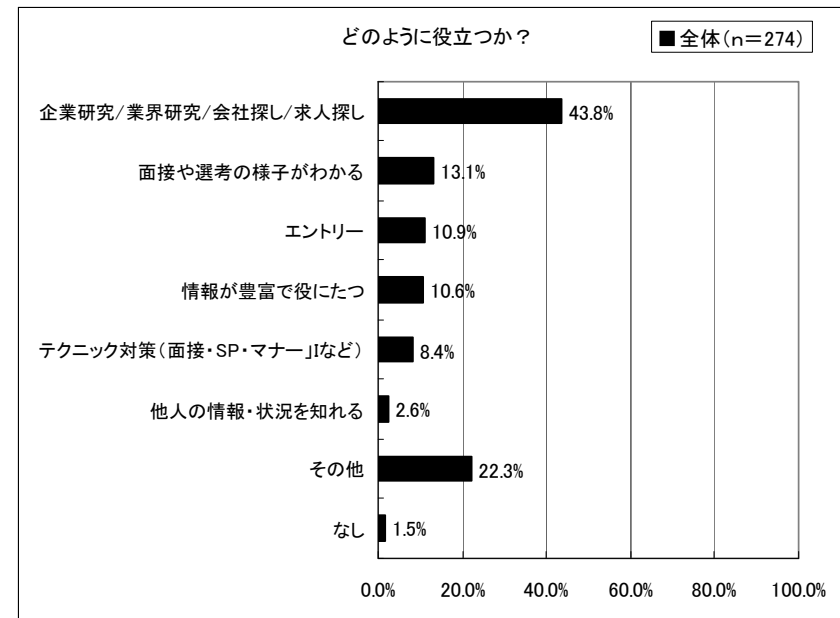
※FAをアフターコーディングにより数値化

■どのWEBサイトが役立つ・役立ったか？(FA)



・その他意見・・・goo、yahoo、SNS、2チャンネル、リクナビNEXT

■どのように役立つ・役立ったか？(FA)



・その他・・・みやすい。いまさら聞けないことや基本が書いてある。

役立つ・役立つしている情報

Q11.就職活動の中で、実際に役立つ情報は、どこからの情報ですか？(MA) また、それはどのように役立っていますか？(FA)

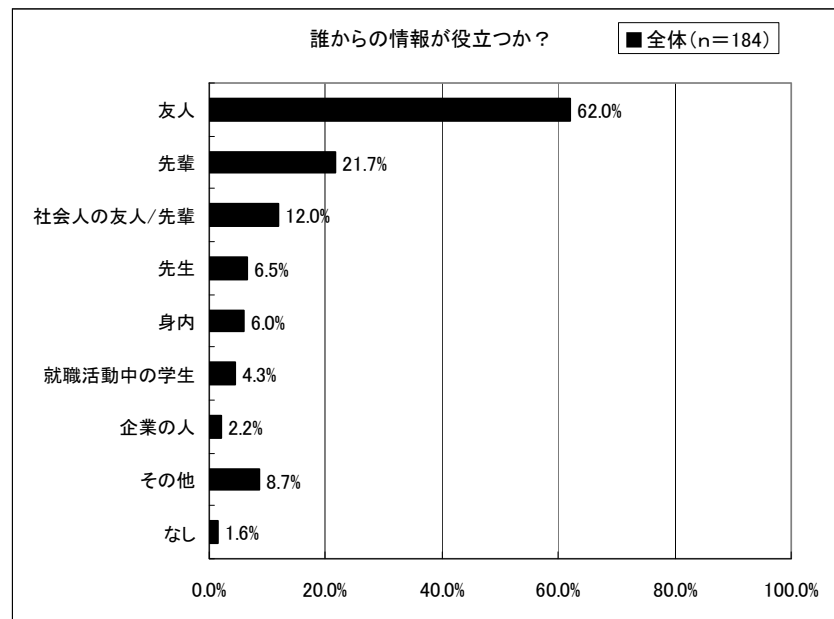
(人からの話)

**6割以上が<友人>と回答。
未経験の内容や、気づかない情報が得られるという点に加え、モチベーションや刺激といったリアルな接点ならではの理由が目立つ。**

※集計対象は全データ

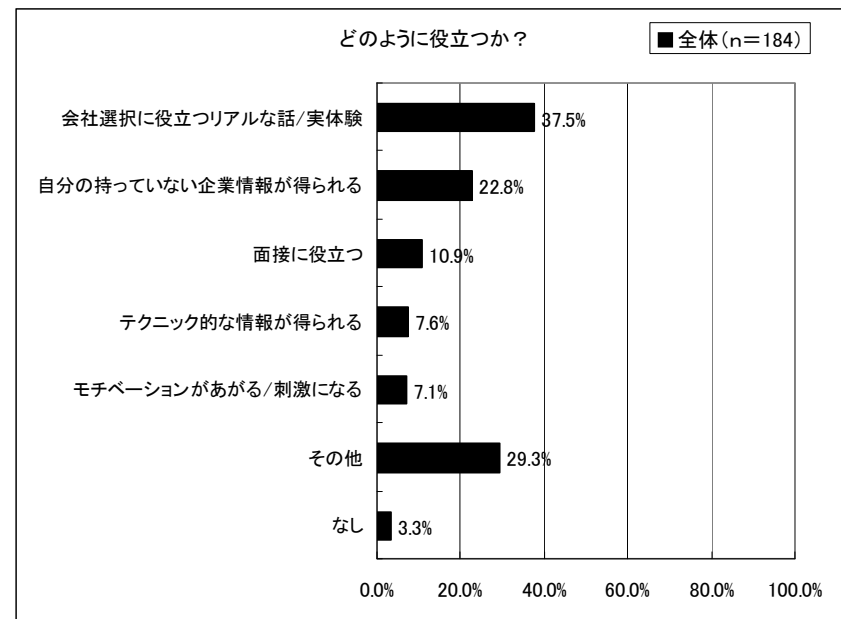
※FAをアフターコーディングにより数値化

■ 誰からの情報が役立つ・役立ったか？



・その他 …アドバイザーなど

■ どのように役立つ・役立ったか？



・その他…友達がどう動いているの知れる。自分とは違った見方をしているから。参考程度。

役立つ、役立っている情報

Q11.就職活動の中で、実際に役立っている情報は、どこからの情報ですか？(MA) また、それはどのように役立っていますか？(FA)

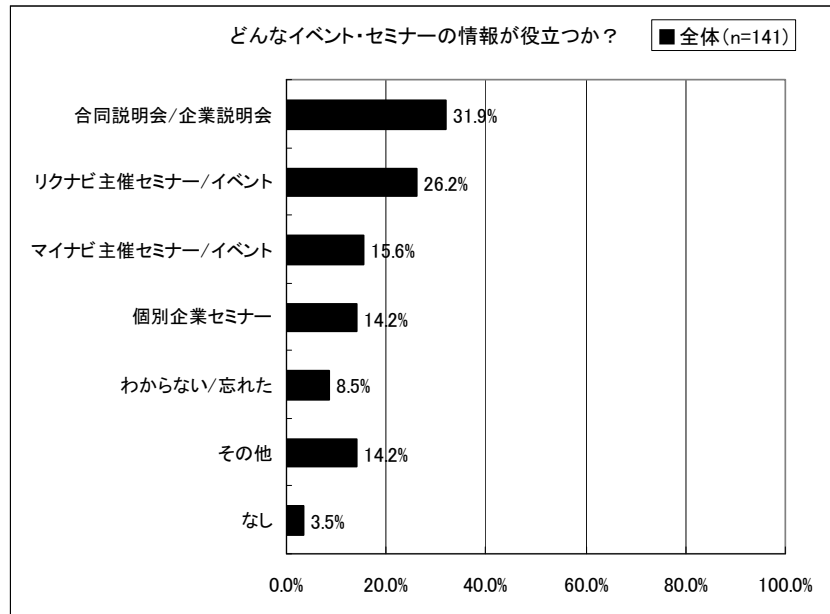
(イベント・セミナーからの情報)

**上位にランクインしたのは、複数社が集まる〈合同説明会／企業説明会〉
“一度に色々な企業情報を得られる”ことや、“雰囲気わかる”ことなど、
量・質共に情報収集できる場を役立つと感じている。**

※集計対象は全データ

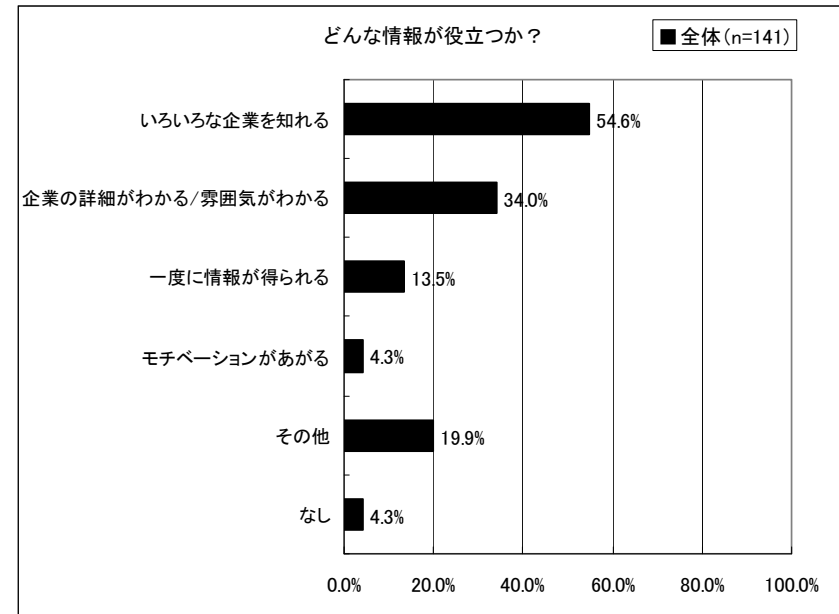
※FAをアフターコーディングにより数値化

■ イベント・セミナーからの情報



・その他 ……生協、日経ナビ、ダイヤモンドアンドピクリード、日経フォーラム主催イベント

■ どのように役立つ・役立ったか？



・その他…就活のプロの話をきける。採用担当と話ができ視野が広がった。裾野が広がる。

役立った、役立っている情報

Q11.就職活動の中で、実際に役立っている情報は、どこからの情報ですか？(MA) また、それはどのように役立っていますか？(FA)

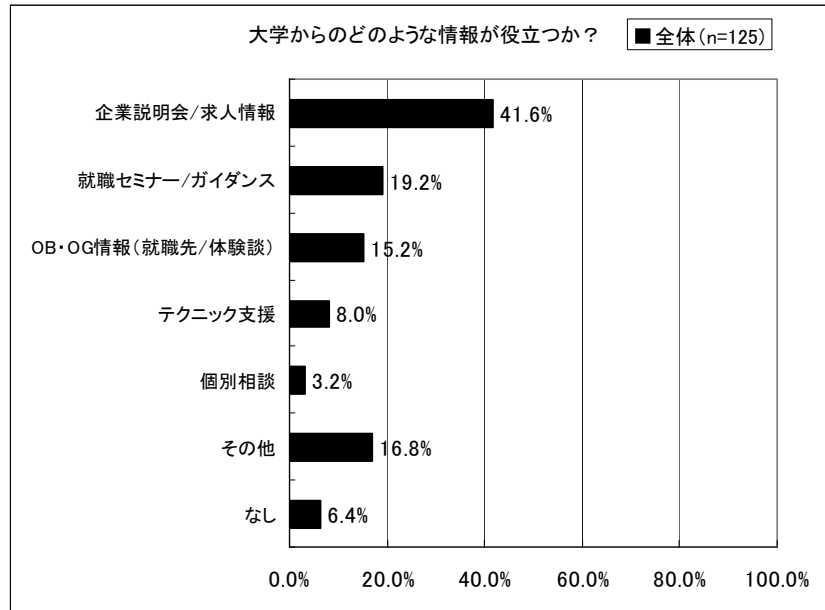
(大学からの情報)

**<企業説明会/求人情報>がトップ。
理由は就職活動の基本といえる部分での役立度を上げる声が目立った。**

※集計対象は全データ

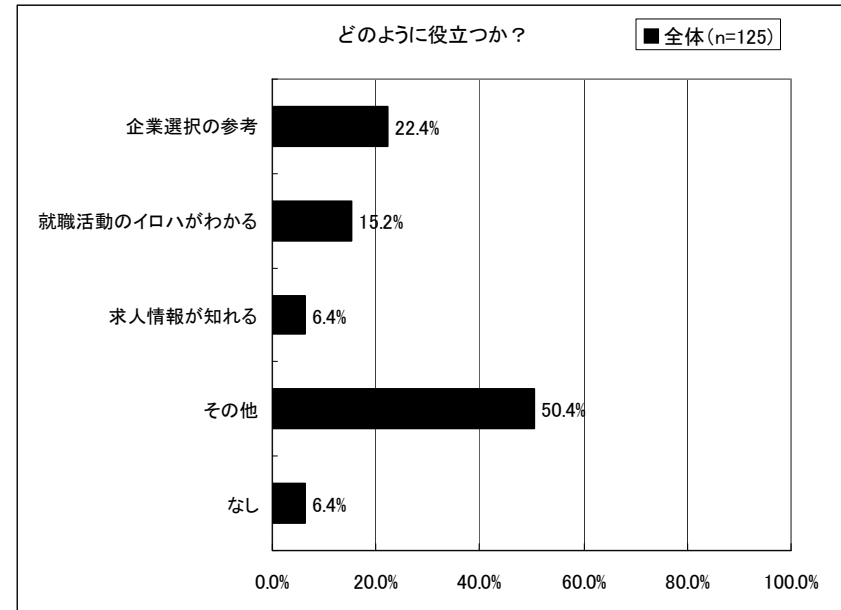
※FAをアフターコーディングにより数値化

■大学からの情報



・その他 …ゼミの先生、キャリアセンター、斡旋情報、就職支援サイト 等

■どのように役立つ・役立ったか？

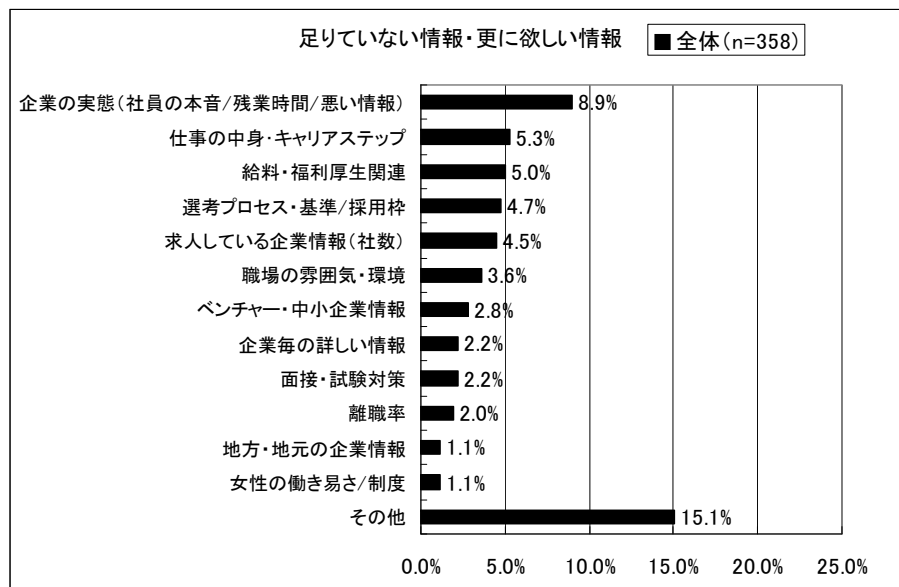


・その他…先輩の就職先で入れそうな企業が分かる。モチベーションがあがる。安心して相談できる。等

足りていない・更に欲しいと思う情報

Q12.現状、足りていない情報・更に欲しいと思う情報は何か？(FA)

総じて“企業の実情”“詳細情報”に関し、更に欲しいという意見が多い。



<企業の実態>

- ・悪い部分の情報。(私立 男子)
- ・実際に働いている社員の声。(私立 男子)
- ・リアルな昇給率、残業時間、離職率。(私立 男子)
- ・企業の情報(説明会などの情報は飾られていると思うので)(私立 男子)
- ・業界の現状などのリアルな話。(国公立 女子)
- ・就職1年目の人の生活がどんなものか知りたい。(国公立 男子)
- ・会社の雰囲気、仕事内容、各休暇は取りやすいのか、年にどのくらい給与が上がっていくのか(私立 女子)
- ・どういう働き方をしているか。(私立 女子)
- ・企業内部の細かい情報。(私立 男子)
- ・会社が発信している情報を見るだけでは、表面的な情報しかわからない。契約上の給与や労働時間はわかるが、実際にその企業で働いている人の姿や仕事に満足しているか、ということがなかなかつかみにくい。だからといってすべての会社にOB訪問できるほど時間的、経済的余裕もない。でもそういう情報は大切だと思う。(国公立 女子)

<仕事の中身・キャリアステップ>

※FAをアフターコーディングにより数値化

- ・企業でのキャリアプラン。(国公立 女子)
- ・企業にもよるが、詳しい業務内容に関する情報があまり掲載されていない場合があるので、必ず欲しいと思う。(国公立 女子)
- ・総合職などで採用する場合、仕事内容が想像しにくいので、配属先ごとに仕事内容をはっきりさせてほしい。(私立 女子)
- ・実際の1日の仕事の流れをもっと知りたい。(私立 男子)
- ・実際の現場について、成功例、失敗例。(私立 男子)
- ・具体的な仕事の内容。(私立 女子)

<給料・福利厚生関連>

- ・社員の給料や会社の経常利益。(私立 男子)
- ・給与モデルや手当の情報。きちんと生活できる不安だから。(私立 男子)
- ・四季報には載っていない企業の平均年収。(私立 男子)
- ・30歳や40歳での給与水準が聞きたい。(国公立 男子)
- ・福利厚生について明らかにしてほしい(私立 女子)

<選考プロセス・基準/採用枠>

- ・企業の採用基準(短大・4年生大学の差など)(私立 女子)
- ・面接の回数など。(私立 女子)
- ・企業がどれだけ内定をだしているのか。(私立 女子)
- ・選考が不透明なので、きちんとした情報。(国公立 女子)
- ・志望する企業の採用プロセス。(私立 男子)

<求人している企業情報>

- ・短大生でも応募可能な企業をまとめてほしい。(私立 女子)
- ・現時点でもエントリー受け付けている希望業界企業の情報。(私立 男子)
- ・今エントリーできる企業の情報。(私立 女子)
- ・どのような企業があるかもっと小規模な企業の採用を知らせてほしい
企業HPだけからしか採用をとってない企業のことを知りたい。(国公立 女子)

足りていない・更に欲しいと思う情報

Q12.現状、足りていない情報・更に欲しいと思う情報は何か？(FA)

<職場の雰囲気・環境>

- ・その会社の事務所はどのような感じなのか事務所の中の環境、社員食堂とか。(私立 女子)
- ・オフィス内の写真。(私立 女子)
- ・企業の雰囲気。(私立 女子)
- ・職場の雰囲気などを知る機会は乏しいと思う。(国公立 男子)

<ベンチャー・中小企業情報>

- ・ベンチャー企業の情報。(私立 男子)
- ・これから伸びる、中小もしくはベンチャー企業の情報。(私立 男子)
- ・小さな企業の情報が欲しい。(国公立 女子)
- ・中小企業の求人情報。(国公立 女子)

<企業毎の詳細情報>

- ・気になる企業のもっと細かい情報は欲しいと思う。(私立 男子)
- ・企業毎のより深い情報。(私立 男子)
- ・企業のHPが充実していないところだと何もわからないところがあって困ることがある。(国公立 女子)
- ・できればもっと細かく企業の情報を載せてほしい。(私立 男子)

<面接・試験対策>

- ・実際に行われた面接、または練習の様子を記録した映像を無料でインターネットで動画配信してほしいです。(私立 男子)
- ・面接の上手なやり方。(私立 女子)
- ・面接対策。(国公立 男子)

<離職率>

- ・ボーナス、離職率など、聞きにくい情報がない。(私立 男子)
- ・入ってみなければ分からないというもあるが、離職率なども知ることができればいいと思う。(国公立 女子)
- ・離職率。(私立 女子)
- ・3年後離職率。(国公立 男子)

<地方・地元の企業情報>

- ・地元企業で優良かつ自分のやりたいことのできる企業がなかなかみつからない。(私立 男子)
- ・Uターン就職についての情報。(私立 女子)
- ・地元の採用情報。(私立 男子)
- ・地方の企業。(国公立 女子)

<女性の働き易さ/制度>

- ・女性の就活のことに関する情報をもっとほしい。(私立 女子)
- ・もっと初任給や離職率、特に産休についての情報を企業は公開して欲しい。(私立 女子)
- ・女性に対しての福利厚生。(私立 女子)
- ・女性の働きやすさに関する情報が、説明会に行かないと分からない。(特に技術職)(私立 女子)

<その他>

- ・自分にあった就職先情報。(国公立 女子)
- ・先輩達の情報。年表みたいなを見たい。(私立 女子)
- ・自宅から近い職場の情報。(私立 女子)
- ・ハードルの低そうな企業案内。(私立 女子)
- ・平均を知りたい。一人が大体貰える内定の数や、セミナーには何社程度訪問しているものなのか、などの平均値を知りたい。(私立 女子)
- ・不安を除去できるようなもの。(私立 女子)
- ・実際の企業状況を内密に伝達できるサービス。(私立 男子)
- ・勤務地の希望は聞いてもらえるのか明確にして欲しい。(私立 女子)
- ・「エリア限定職」「転居を伴う転勤が無い職種」「まだこれからも採用する予定が有る企業」(私立 女子)
- ・終わってる企業とかはもうのせないでほしい。(私立 女子)
- ・選考時期によって検索できたらよい。(国公立 女子)
- ・企業の新入社員に対する希望。(国公立 男子)
- ・その企業が、社会の中で具体的にどのような活躍をしているのかなど。(私立 女子)
- ・企業ごとの採用日程。思った以上に時間がかかる企業も多く、スケジュールの予定が立てにくかった。(私立 男子)



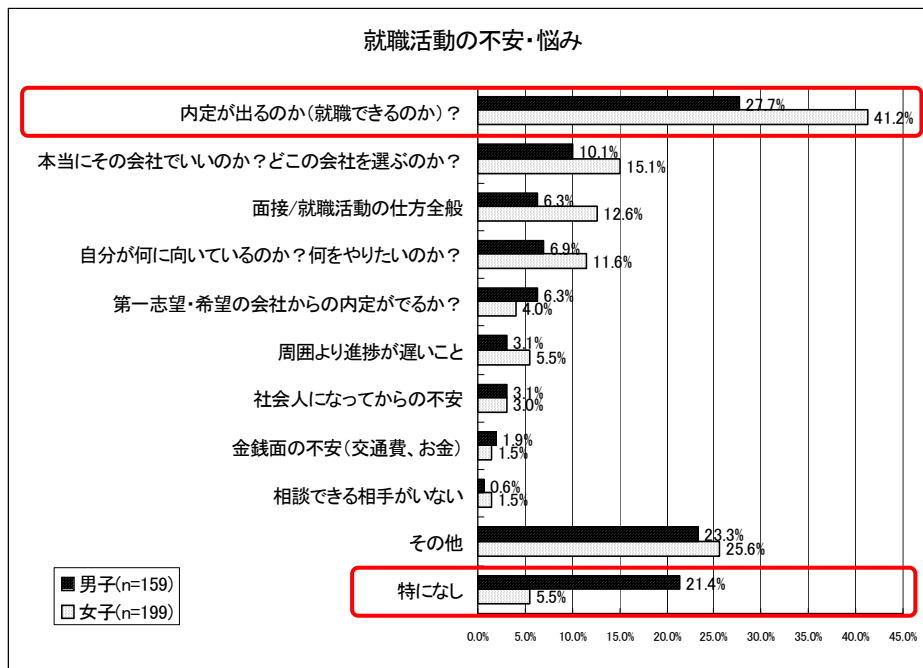
■ 集計結果7 : 就職活動の不安・悩み／全般的な意見

就職活動に関する不安・悩み

Q8.現在、就職活動に関して不安に思っていること・悩んでいることを教えてください。(FA)

**内定がでるのか？ということに、不安・悩みを感じる女子が4割を超える。
対照的に、男子は<特になし>という声も目立った。**

※FAをアフターコーディングにより数値化



<本当にその会社でいいのか?どの会社を選ぶのか?>

- ・希望する企業が決まらぬ。(国公立 男子)
- ・内定がすぎてどこにしようか迷っている。(私立 男子)
- ・後1つしか受けるつもりがないが、今内定をもらっている企業とそこだけで決め手本当にいいのか少し不安だが、そこまでではない。(私立 女子)
- ・本当に自分が考えている会社がいいのか(私立 男子)
- ・就職先に決めた会社は本当にいい会社なのか。(私立 男子)
- ・どういう観点から企業と自分がマッチしていると思ったらいいのか。(私立 男子)
- ・この企業でいいのだろうか。(私立 女子)
- ・いま受けている企業で長く勤められるのか。(国公立 男子)

<面接/就職活動の仕方全般>

- ・面接が不安です。(私立 女子)
- ・自分自身を出しても、落とされるので自分自身を着飾らなければいけないのか。(私立 男子)
- ・面接のマナーや、対応について。(私立 男子)
- ・面接の際に、自分の考えを上手くまとめて述べられるかどうか不安。(私立 女子)
- ・面接対策。どのような質問をされるのか、また、どのように答えると印象がいいのか?(国公立 女子)
- ・面接時の話し方が難しい(私立 女子)

<内定が出るのか?>

- ・このまま内定がでないのではないかと。思う。(私立 女子)
- ・就職できるのか。(国公立 女子)
- ・ホントに内定を貰う事が出来るのか。(私立 男子)
- ・内定がまだないので焦っている。(私立 女子)
- ・内定がでないこと。おんなであることが不利に働いていると感じることがあること。(私立 女子)
- ・内定がでるのが不安で、今やっていることが正しいのか分からずに悩んでいる。(私立 女子)
- ・卒業まで内定がでなかったらどうしよう。(国公立 女子)
- ・ちゃんと学生のうちに就職が決まるのかどうか。(国公立 女子)

<自分が何に向いているのか?何をやりたいのか?>

- ・自分が何に向いているのかよくわからない。(私立 女子)
- ・自分に合った職業や企業がわからない。(私立 女子)
- ・何がしたいかはっきりしていない。(私立 男子)
- ・就職出来るのだろうか。しなければならぬことは分かっているが、自分に何が合っているのか、自分は何がしたいのかよく分からないから、どうしたらいいのか...
- ・とりあえず就活っぽいことをしているだけの様な気がする。
- ・自分がよく分からない。いつそ誰かにこれになれと言われたい。
- ・そんな状態のため、志望動機とかが浮かばない。(私立 女子)
- ・自分自身どのような仕事かしたいのか良くわからない。(私立 男子)

就職活動に関する不安・悩み

Q8.現在、就職活動に関して不安に思っていること・悩んでいることを教えてください。(FA)

<第一志望・希望の会社から内定ができるか？>

- ・第一志望の会社に内定をもらえるかどうか一つの会社にしか魅力を感じず、内定をもらえない時にどうしたらいいのかどうか。(国公立 女子)
- ・第一志望軍に受かるか。(国公立 男子)
- ・本命郡から内定をもらえるのかということ。(私立 男子)
- ・自分の納得のいく会社に就職できるか。(私立 女子)
- ・第一希望の会社に行けるかどうか。(国公立 男子)
- ・本当に自分がやりたいことのできる企業に入れるかどうか、常に不安を感じている。(国公立 女子)
- ・自分の納得のいく会社に就職できるか。(私立 女子)
- ・希望の企業に入れるかどうか不安。(私立 男子)

<周囲より進捗が遅いこと>

- ・ピークが5月だといわれているのにまだ就職したいと思える会社をみつけていないこと。(私立 女子)
- ・全部落ちてしまったらと不安。まわりが就活を終え始めているので、焦る。(私立 女子)
- ・周りの動きに振り回されそうになる。(私立 男子)
- ・やはり、周りに内定を決めた友人が出てくると、若干焦ってくる。(私立 男子)
- ・周りで内定が出始めているが、自分はまだ全然選考が進めないでいる。(私立 女子)
- ・周りが内定を貰っていく姿を見ると不安に思う。(私立 女子)
- ・本当に内定がもらえるのか？自分は人より遅れている。(私立 女子)
- ・まわりのゼミの人たちは内定が出ている人たちが出てきているが自分のゼミの所は誰も内定が出ていない。(私立 男子)

<社会人になってからの不安>

- ・今思っている会社に就職した後の将来。(国公立 女子)
- ・本当にやっていけるのか。(私立 男子)
- ・新卒で入社した企業ですずっとやっていくのか。(国公立 女子)
- ・就職しても続けられるかが不安。(私立 女子)
- ・本当に自分が社会にでて熱意をもってその会社でやっていけるのか。(私立 女子)
- ・自分が希望する企業に就職できるのかまた、就職して、その先続けられるのか。(私立 男子)

<金銭面の不安>

- ・東京の企業に絞って就職活動を行っているのに、お金がない。(私立 女子)
- ・交通費などの費用。(私立 男子)
- ・活動費用が無い。(国公立 男子)
- ・交通費が出るのかどうか。(国公立 女子)
- ・お金がかかる。(国公立 女子)

<相談できる相手がいない>

- ・就活を開始した頃と、志望が変化してきた。周りに就活している人間がいないので、モチベーションが上がらない。孤独。(国公立 女子)
- ・わからないことだらけだが、身近に、気軽に話を聞ける人がいない。(私立 女子)
- ・自分が何に向いているのかさっぱり分からず相談する人もいない。(私立 女子)
- ・周りに相談できる人がいない。具体的に何をすればいいのかが分からない。(私立 男子)

<その他>

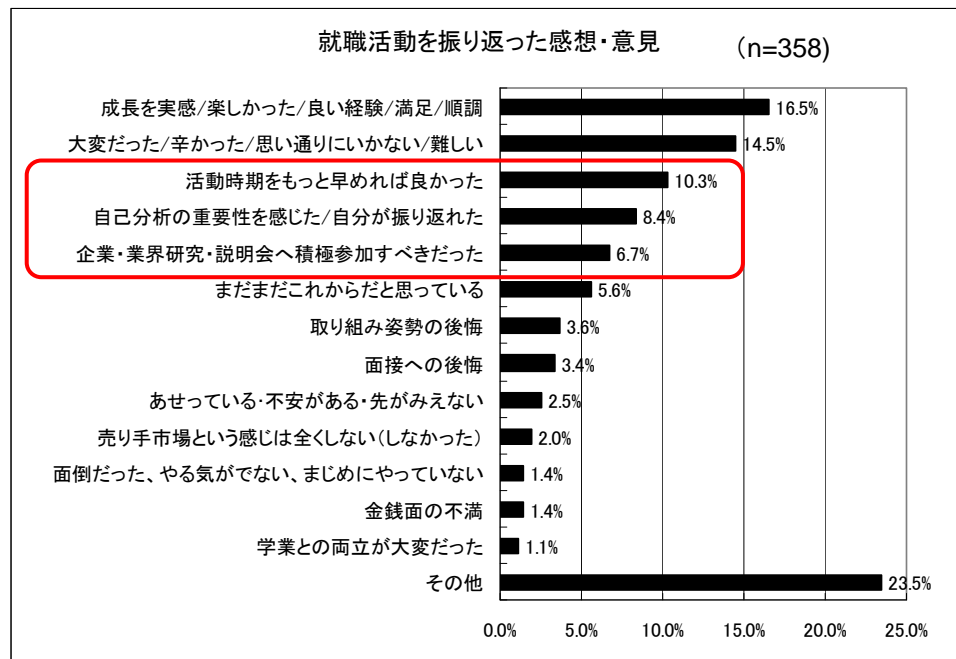
- ・人間関係が上手くいくかどうか。(国公立 男子)
- ・自分が力不足。(私立 女子)
- ・短大生のため、採用案内を見ても採ってもらえないところが多いので不安。(私立 女子)
- ・人生が決まってしまうということ。(私立 男子)
- ・内定がでていながら、自分自身の将来の選択がこれで間違っていないかという不安がある。内定が複数出ているので、内定を断る際のことが不安である。(私立 男子)
- ・給料を重視すべきか、自分がやりたいことを重視すべきか。(国公立 女子)
- ・1次面接で落とされてばかりなので、自分の気づかない欠点があるのかと不安。(私立 男子)
- ・本当に就職先は見つかるのか？就職浪人するんじゃないか？就職してその後には一体何が あるんだろうか？就職する意味すらわからなくなる時がある。(私立 女子)
- ・どんな企業の説明をきいても、働きたくないようなものはない。(国公立 女子)
- ・実際に働いてみると職場の雰囲気や自分にあっているのかわからない。また、説明会等と言っている待遇や休暇などが違っていきそう。(私立 女子)
- ・希望している業界や職種が自分に合っているか否か。最終面接を突破できないこと。(私立 女子)
- ・企業側が何を求めているのか明確ではない。理想像とか言うけど、実際関係ない人が内定もらっていたりする。(私立 女子)
- ・どんな仕事が自分に合うのか。また企業側の評価基準がよくわからない。(私立 女子)

就職活動に対する全般的な意見

Q15.内定をもらっている・もらっていないに関わらず、これまでのご自身の就職活動を振り返った感想・ご意見をお聞かせ下さい。(FA)

※FAをアフターコーディングにより数値化

就職活動を有意義だという意見が意外に多い。一方で、“活動時期”、“自己分析”、“企業研究”等に関しては後悔の声も目立つ。



<成長を実感/楽しかった/良い経験/満足/順調>

- 充実していて、とてもいい経験になっている。(私立 男子)
- 少しは成長できているのではないかなと思う。(私立 男子)
- 途中大変なこともあったが、今ではとても充実していたと振り返ることができるし、普段入れない場所に入れたりもしたのでいい経験になっている。(私立 女子)
- 就活は自分自身の成長のためにやってよかったとおもいます。社会経験ができました。(私立 女子)
- 全力で目の前の事に取り組んだのでよくやったと思う自分自身の強みを強く出せたので非常に良かったと思う。(私立 男子)
- いろんな人(一緒に面接などを受けた人)と会話ができたこと、出会えたことが楽しいし、嬉しい。(私立 女子)
- まだ短い期間ではあるが、自分の考えをまとめる良い機会であると思う。(国公立 男子)
- 自分なりに頑張ってきたと思う。(私立 女子)
- 順調に進めることができて良かった。(国公立 男子)

<大変だった/辛かった/思い通りにいかない/難しい>

- 情報収集や活動のための用品購入や資金を用意したりなど、思ったよりも大変だった。(国公立 男子)
- 精神の弱さを痛感した。やりたいことができるわけではないことがわかって、社会の厳しさを感じた。どうすればやりたいことができるのだろう。(私立 女子)
- 一筋縄ではいかない。(私立 女子)
- つらいことが思った以上にたくさんあった。(私立 女子)
- 思っていた以上にしんどくて、不安です。(国公立 男子)
- 心が折れる。(私立 男子)

<活動時期をもっと早めれば良かった>

- もっと早く動くべきだった。今になって焦っている。何かが自分を止めていた。(私立 女子)
- もう少し早く色々動けばよかったと思う。(国公立 女子)
- 就職活動への意識が低い。もっと早く準備しておけばよかったと後悔している。(私立 女子)
- もう少し早く活動すれば良かったと思います。そして就職活動においては、情報を得て、正しく判断することが求められると思います。(私立 女子)
- 早めに始めるに越したことはない。(国公立 男子)
- 内定をもらえるかももらえないかを左右する大きな原因のひとつとして、就職活動を始める時期があると思う。事実、私の周りでは早く始めた人はキチンと内定をもらえている。(私立 男子)

<自己分析の重要性を感じた/自分が振り返れた>

- 活動の仕方が分からなくて、とりあえず来た求人に飛びついた形になってしまっている気がする。もう少し、自分のやりたい事をじっくり見つけなおしたい。(私立 女子)
- 自分と真剣に向き合い、改めて自分について考え直すいい機会になった。精神面でも、前向きさを身につけ、成長できたと思う。(国公立 女子)
- 自己分析が一番大切な気がした。(国公立 男子)
- 自分を客観的に見がむしゃらにやっているだけなので、もっと効率良く就活したい。また、筆記対策や、自己分析などをもっと早い段階で進めておけばよかったと後悔している。つめなおす必要がある試練だと感じる。(国公立 女子)

<企業・業界研究・説明会へ積極参加すべきだった>

- もっと積極的に企業行われる説明会やセミナーに参加すべきだと思う。(私立 女子)
- 人より早く始めたが、早くから企業をしぼりすぎてしまい、またあとからいろいろ調べる結果となった。もっとたくさんの企業を調べておくべきだった。(私立 男子)
- もっときちんと企業の事、業界の事を勉強するべきだった。あと、選り好みせず、少しでも気になった企業には説明会など、どんどん積極的に参加するべきだった。(私立 女子)

就職活動に対する全般的な意見

Q15.内定をもらっている・もらっていないに関わらず、これまでのご自身の就職活動を振り返ったご感想・ご意見をお聞かせ下さい。(FA)

<まだまだこれからだと思っている>

- ・まだまだ中途半端なかんじなんで気持ちいれてこれからガンガン行く。(私立 男子)
- ・とても考え、悩み、そして頑張ってきていると思います。あと少しなのでラストスパートをがんばりたいと思います！(国公立 女子)
- ・納得できる就職活動になるよう、もう少しがんばります。(国公立 女子)

<取組み姿勢の後悔>

- ・自分は周りから見れば、かなり気楽な気持ちで就職活動をしていたのでもう少し気を引き締めれば良かったと今は思います。(私立 男子)
- ・もっと時間をとれば良かった。(私立 女子)
- ・周り程真剣に取り組んでなく、もっと頑張ったほうが良いと思う。(私立 女子)
- ・マイペース・人に頼りすぎ・他の人よりも頑張っていない。(私立 女子)
- ・弱気なのがいけないのだろうか、と思う。(国公立 女子)

<面接への後悔>

- ・面接で初めて会う人に対してどのように自分をアピールすればよいのかを悩みました。(私立 女子)
- ・面接の練習にと自分の興味のない会社も受けたが、やはり興味がなくて全然志望動機などが上手くいえなかったのが残念だった。でも面接は慣れた人のほうが絶対強いと思うので本命(第一志望)前に何社かは受けるべきだと思う。(私立 女子)
- ・面接で落ちた場合、何が悪かったのかさっぱりわからず、次に生かせない。(私立 男子)

<あせている・不安がある・先が見えない>

- ・本当に就職できるかが、ずっと不安である。(私立 男子)
- ・途中で就活を中断した時期もあり、そのブランクがとても悔やまれ、焦る要因になっている。(私立 男子)
- ・やばいです。まだなにも進んでいない。就職できるかな……。 (国公立 男子)
- ・忙しい。先が見えない。(私立 女子)
- ・なかなか決まらず、もう決まらないのと思うことが多々あります。ちょっと焦り気味。(私立 女子)

<売り手市場という感じは全くしない(しなかった)>

- ・売り手市場だというのが、実際は特定の人がたくさん内定をもっているだけで、現実には甘くはない。(国公立 男子)
- ・売り手市場と煽るのはやめてほしい。厳選大量採用だということを実感した。先輩なども上手くいっていたから自分もうまくいくなめていたらまったくそんなことがなかった。上手くいく人といかない人の差がある。学歴社会がある程度は残っていると思った。(私立 女子)
- ・就職活動は運と学校の力だと思う。なんだかんだどこもブランド志向だし、女より男を探るし、タイミングが合わないときが多い。売り手市場という感じはまったくしない。(私立 女子)

<面倒だった、やる気がでない、真面目にやっていない>

- ・面倒くさかった。(私立 男子)
- ・面倒くさいし、特に就職をする気が無いので意味が無い。(国公立 女子)
- ・あまりまじめにはやっていません。(国公立 女子)

<金銭面の不満>

- ・情報収集や活動のための用品購入や資金を用意したりなど、思ったよりも大変だった。(国公立 男子)
- ・大阪まで自費で行ったり、そういうのが本当に辛い。企業には、もっと多くの都市で説明会や採用試験をしてもらいたい。(私立 男子)
- ・交通費がかかりすぎる。(国公立 男子)
- ・実験との両立がほんとうに大変でした。最終面接で落とされたときのショックは忘れられません。(最終前に健康診断・プチ祝賀会をやるのはいいかなものか)研究職をとるのに技術面接がおとって役員面接で研究内容を聞かれるのはつらい。お金がたりない！！(国公立 女子)
- ・説明会がほとんど東京であるので、交通費がバカにならない。また、その交通費に見合う情報が得られない企業もある。(私立 女子)

<学業との両立が大変だった>

- ・大学の研究との両立が困難であったため就活の開始が遅れてしまい、十分な準備が出来ないまま希望企業の選考が終わってしまったことが悔やまれる。(国公立 女子)
- ・研究を続けながら、就職活動は大変である。学校推薦制度があるが、どれほど効力あるかも分らず、不安になるばかりである。(国公立 女子)

<その他>

- ・理系は楽。(国公立 男子)
- ・とてもつらい。今の社会はもっと効率の良い方法で学生と企業の適性や内定の取り方、出し方ができるのではないのかと思うことがある。仕事の制度自体で、ワークシェアリングのように個人の仕事を多少減らして、人員を増やしていく方向にしていってほしいと思う。しかし、つらいことばかり考えても仕様がないので、どこかに自分に合った会社があると信じて、がんばってほしいと思う。(私立 男子)
- ・笑顔は大事。(私立 女子)
- ・圧迫面接はなくて安心した。逆に突拍子もない「明日地球が減びるとしたらどうする？」といった質問をされ驚いた。(私立 女子)
- ・企業の採用活動をもっと透明化してほしい。選考の途中で落ちたのなら、その旨メールでもいいので連絡がほしい。落ちたことを知らせずうやむやにするのは誠意がないと思うし、今後その企業とかかわりを持ちたいとは思えなくなる。(私立 女子)
- ・地方と東京近辺では違うのかもしれないが、東京の友人の話を聞いていると、わたしももう少し必死になったほうがいいのか、とも思う。しかし地方にはそもそも採用をしている企業が少なく、地域を限定して就職活動を行っているものには厳しい、という印象である。(国公立 女子)
- ・なんで面接で全て採用か不採用か決めてしまうのだろうか？短時間じゃその人の半分も分からないのにそんなんでも決めていいのだろうか？実際に長期間やらせてみてそれから判断してもよいのではないだろうか？(私立 男子)
- ・企業は就職採用を始めるのを4月からにするべきだ。(私立 女子)
- ・中小企業の内定獲得は比較的容易である。(私立 女子)